2-188-185-**02** (1)

パーソナル コンポーネントシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書は、本体の操作を説明しています。付属のソフトウェアSonicStageの操作については、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

MDLP
CMT-A01MD

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネット、電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

目次

⚠ 警告 5
⚠ 注意 7
ATRAC CDを作って楽しもう 11

接続と準備 13
付属品を確かめる 13
各部のなまえ 14
接続する 19
時計を合わせる 21
表示窓のコントラストを調節する 22

ここだけ読んでも使えます 23
CDを聞く 23
CDをMDにまるごと録音する
（高速シンクロ録音）（CD-MDシンクロ録音）.. 26
MDを聞く 30
テープを聞く 32
テープをMDにまるごと録音する
(TAPE-MDシンクロ録音）.......... 34
ラジオを聞く 37
ラジオを録音する（マニュアル録音）.......... 39

CD・MD再生 45
表示窓の見かた 45
聞きたい曲を選ぶ
（ダイレクト選曲/サーチ）.......... 47
いろいろな再生方法（プレイモード）で
楽しむ 48
MDのグループ内の曲を聞く
（グループ再生モード）.......... 52

MDに録音する 53
CDの再生中の曲だけを録音する
（REC IT録音–MD）.......... 53
CDから好きな曲を選んで録音する
（CD-MDプログラムシンクロ録音）. 54
マニュアルで録音する
（マニュアル録音–MD）.......... 55

MD編集 57
編集する前に 57
グループ機能とは 57
グループを作る（グループ機能） 58
グループを解除する
（グループリリース機能） 59
曲をグループに入れる
（グループイン機能） 60
曲をグループから抜く
（グループアウト機能） 61
曲を消す（イレース機能） 62
曲を2つに分ける（ディバイド機能） 63
2つの曲を1つにする
（コンバイン機能） 64
曲順を変える（ムーブ機能） 65
曲名•ディスク名•グループ名を付ける
（ネーム機能） 67

テープに録音する 71
CDやMDの再生中の曲だけを録音する
（REC IT録音–TAPE） 71
CDやMDを録音する（CD-TAPEプログラムシンクロ録音）（MD-TAPEプログラムシンクロ録音） 72
マニュアルで録音する
（マニュアル録音－TAPE） 73

ラジオ 75
放送局を記憶させる 75
記憶させた放送局を聞く
（プリセット選局） 76

音質 77
好みの音質で聞く 77

タイマー 78
音楽で目覚める
（目覚ましタイマー） 78
タイマーを使って録音する
（録音タイマー） 79
音楽を聞きながら眠る
（スリープタイマー） 81

外部機器との接続 82
テレビ、ビデオなどの音を聞く 82

困ったときは......................... 83
故障かな?と思ったら 83
エラーメッセージ一覧 88

その他 90
使用上のご注意 90
主な仕様 92
保証書とアフターサービス 93
解説 94
索引 97

この取扱説明書について

この取扱説明書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体での操作のしかたは、リモコンと違う場合に明記してあります。
「各部のなまえ」（14〜18ページ）も併せてご覧ください。

⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

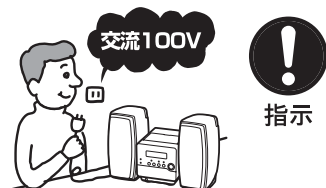
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

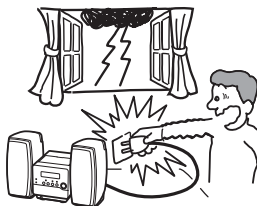
海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

指示

火災
感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

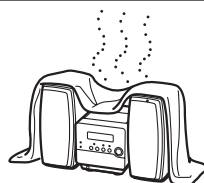
感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

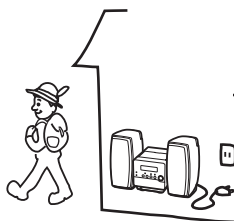
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

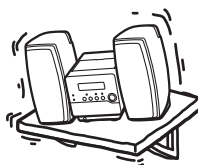
感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。
また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

幼児の手の届かない場所に置く

CDパネル、MDパネルなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、ディスクが内部に落ち故障の原因となったり、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告 ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意 ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

付属のソフトウェアについて

- □権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
  なお、本文中では™、®マークは明記していません。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データ内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。
  （お問い合わせ先（社）私的録音保証金管理協会　Tel.03-5353-0336）

ATRAC CDを作って楽しもう

本機では、通常の音楽CDに加えて、付属のSonicStage（ソニックステージ）ソフトウェアを使ってパソコンで作成したオリジナルのCD（ATRAC CDと呼ぶ）を再生できます。SonicStageを使うと、音楽CD約30枚分*の曲を1枚のCD-RまたはCD-RWに記録できます。ATRAC CDに入れた音楽を聞くまでの流れは以下のとおりです。

SonicStageをパソコンにインストールする

SonicStageは、音楽CDやインターネットから音楽をパソコンに取り込んで、オリジナルのCDを作るソフトウェアです。付属のCD-ROMからインストールします。

ATRAC CDを作る

パソコンに取り込んだ音楽から好きな曲を選び、SonicStageを使って、CD-R/CD-RWディスクに書き込みます。

ATRAC CD

音楽CD
MP3ファイル

インターネット

CDプレーヤー（本機）で聞く

たくさんの曲が入ったオリジナルのCDを、手軽に楽しめます。

SonicStageのインストール方法やATRAC CDの作りかたは、付属の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

* 700MB（メガバイト）のCD-R/CD-RWディスクに、1枚あたり約60分の音楽CDをATRAC3plus、48kbpsで記録したときの換算です。

本機で再生できるディスクは？

音楽 CD:
CDDA フォーマット

CDDAは、Compact（コンパクト） Disc（ディスク） Digital（デジタル） Audio（オーディオ）の略で、一般音楽CDの規格です。

ATRAC CD:
SonicStageを使ってATRAC3plus（アトラックスリープラス）*やATRAC3（アトラックスリー）*フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク**

ATRAC3は、Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding3（コーディングスリー）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは、ATRAC3をさらに発展させ、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64 kbpsのとき）に圧縮する音声圧縮技術です。

ATRAC CDは、SonicStageで作成できます。

MP3 CD:
SonicStage以外のソフトウェアを使ってMP3フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク**

MP3は、MPEG-1 Audio Layer3の略で、音声データをCDの約10分の1に圧縮する音声圧縮技術です。

MD:
60/74/80分ディスク

SonicStageでは、音声データの種類が混在したディスクを作ることはできません。

* ATRAC3plusとATRAC3はソニー株式会社の商標です。
** ISO 9660 Level 1/2形式とJoliet拡張形式でフォーマット済みのディスク。

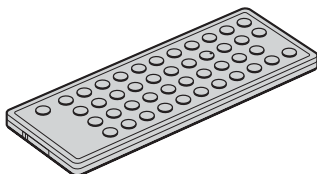
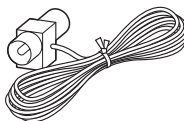
著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。本製品において万一、DualDiscの音楽専用面の再生を試みた場合、DualDiscのDVD面に再生において問題となる傷を生じる可能性がありますので、本製品ではDualDiscはご使用になれません。

付属品を確かめる

●リモコン

●FMアンテナ

●AMループアンテナ

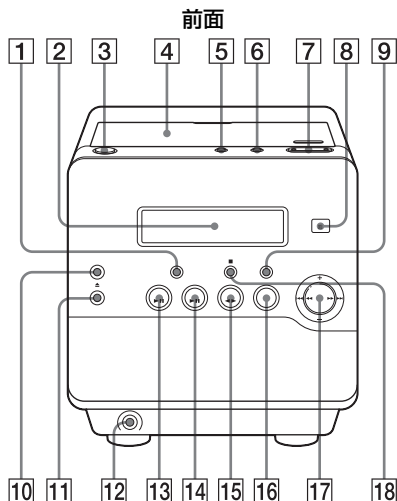
●CD-ROM（SonicStage）
●CMT-A01MD取扱説明書・保証書
●ソフトウェア　インストール・操作ガイド
●カスタマー登録のご案内
●ソニーご相談窓口のご案内

各部のなまえ

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

前面

後面

ハイ　スピード レコーディング
1 HIGH SPEED RECボタン
CDからMDへのシンクロ録音を高速で行います（27、53）。

2 表示窓

3 I/⏻（電源）スイッチ

4 カセットぶた

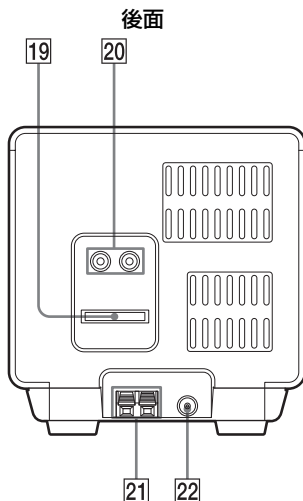
レコーディング
5 MD RECボタン
MDにマニュアル録音します（40､56）。

テープレコーディング
6 TAPE RECボタン
テープにマニュアル録音します（43、74）。

ボリューム
7 VOLUME（音量）+*､–ボタン

8 リモコン受光部

ファンクション
9 FUNCTIONボタン
音源の切り替えに使います。
押すたびに「MD」、「CD」、「TAPE」、「TUNER」、「LINE」が切り替わります。

10 MD ⏏ボタン
MDスロットを開閉します。

11 CD ⏏ボタン
CDスロットを開閉します。

12 🎧端子
ヘッドホン（別売り）を接続します。

13 MD▶II（再生／一時停止）ボタン

14 CD▶II（再生／一時停止）ボタン

テープ
15 TAPE ◀▶（再生）ボタン

チューナー　バンド
16 TUNER BANDボタン
押すと自動的にラジオの電源が入ります。FMまたはAMに切り換えます。

17 4方向マルチレバーキー
上下、左右にレバーを傾けます。それぞれ、次の操作に使います。

グループ
🗀/GROUP +/–：ATRAC CD/MP3 CDまたはMDの再生中にグループを選びます(24、47)。

チューン
TUNE +/–：ラジオ受信時に周波数を合わせます(37)。

PRESET +/–：プリセットした放送局を呼び出します (76)。

⏮、⏭（AMS）：CD、MDの曲の頭出しをします（24、31）。

◀◀、▶▶（サーチ）：テープの早送り/早戻しをします（33）。
MD、CDの再生中または一時停止中にボタンを押し続けると、曲中の好きなところを探すことができます（47）。

18 ■（停止）ボタン

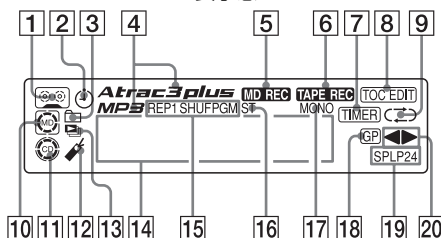
19 SPEAKER OUT(POWER IN)端子（スピーカー アウト パワー イン）
付属のスピーカーから電源を供給します（19、20）。

20 LINE IN端子（ライン イン）
テレビやビデオなどの機器をつなぎます (82)。

21 AM EXT ANT（外部アンテナ）端子 (19)

22 FM EXT ANT（外部アンテナ）端子 (19)

* VOLUME +（ボリューム）ボタンに凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓

1 テープ表示

2 タイマー動作中表示
タイマーを設定した時刻になると表示されます (79、80)。

3 プレイモード表示（ATRAC CD/MP3 CDのグループ）（48）

4 MP3/ATRAC3plus表示
CDスロットに入れたディスクの種類が表示されます。

5 MD REC（レコーディング）表示
MDに録音中に表示されます。

6 TAPE REC（テープレコーディング）表示
テープに録音中に表示されます。

7 TIMER（タイマー）表示
タイマーが予約されていることを示します（78〜80）。

8 TOC EDIT（エディット）表示
MD録音中やMD編集中に表示されます。(28、36、41、53、55〜57、94)

9 ディレクションモード表示
テープの走行のしかたを表示します（33、35、43、71〜74）。

10 MDディスク表示
再生、録音中は黒い円が回転します。

11 CDディスク表示
再生中は黒い円が回転します。

12 プレイモード表示（ブックマーク）(49)

13 プレイモード表示（プレイリスト）(50)

14 文字情報表示部

15 プレイモード表示（リピート、シャッフル、プログラム）（48〜51）

16 ST（ステレオ）表示 (37)

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

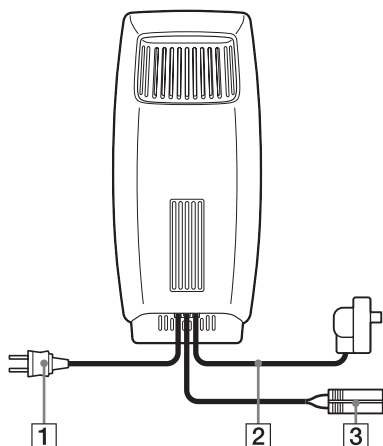
17 MONO表示（モノーラル）
モノラル録音されたMDの再生中に表示されます。

18 GP表示（グループ）
MDのグループ再生モード中に表示されます（52）。

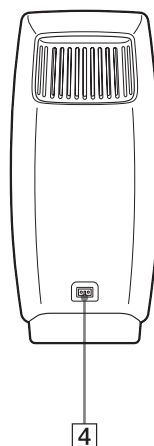
19 録音モード表示
MD録音中は、選んだモードが表示されます（27、35、40、53、54）。
再生中は記録されているモードまたは直前にMD録音したときのモードが表示されます（31）。

20 テープ走行表示（33、44、71～74）

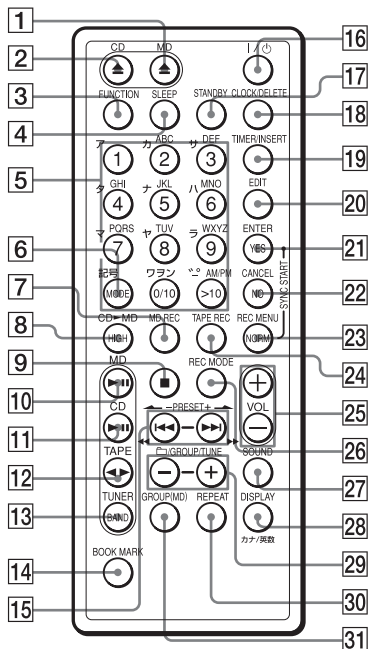
スピーカー

右スピーカー後面

左スピーカー後面

1 電源プラグ
壁のコンセントにつなぎます（19）。

2 接続コード
本体のSPEAKER OUT (POWER IN)端子に接続します（19、20）。

3 スピーカーコード
左スピーカーのSPEAKER端子に接続します(19)。

4 SPEAKER端子
右スピーカーのスピーカーコードを接続します(19)。

リモコン

1 ⏏MDボタン
MDスロットを開閉します。

2 ⏏CDボタン
CDスロットを開閉します。

3 FUNCTION（ファンクション）ボタン
音源の切り替えに使います。
押すたびに「MD」、「CD」、「TAPE」、「TUNER」、「LINE」が切り替わります。

4 SLEEP（スリープ）ボタン
音楽を聞きながら眠るときに使います（81）。

5 数字／文字ボタン
CD/MDのダイレクト選曲、MDの文字入力や時計、タイマーの設定に使います（21、47、50、54、68、70）。

6 MODE（モード）ボタン
CD/MD：再生方法（プレイモード）を切り換えます（48〜51）。
テープ：走行のしかた（ディレクションモード）を切り換えます（33、35、43、71〜74）。

7 MD REC（レコーディング）ボタン
MDにマニュアル録音します（40、56）。
MDの録音中に押すと、押した位置に新しいトラックマーク（曲番）が付きます（41、56、64）

8 CD►MD HIGH（ハイ）高速録音ボタン
CDからMDに高速シンクロ録音をします（27、53）。

9 ■（停止）ボタン

10 MD►II（再生／一時停止）ボタン*

11 CD►II（再生／一時停止）ボタン*

12 TAPE ◄► （再生）ボタン

13 TUNER（チューナー） BAND（バンド）ボタン
押すと自動的にラジオの電源が入ります。FMまたはAMに切り換えます。

14 BOOK（ブック） MARK（マーク）ボタン
ATRAC CD/MP3 CDのお気に入りの曲にブックマーク（しおり）をつけたり消したりします（49）。

15 ⏮、⏭（AMS）•◄◄、►►（サーチ）•◄—、—►•PRESET +/–ボタン
CD/MD：曲の頭出しをします（24、31）。
再生中または一時停止中にボタンを押し続けると、曲中の好きなところを探すことができます（47）。
MDのネーム編集にも使います（67）。
テープ：早送り/早戻しをします（33）。
そのほか、曲や曲番を選んだり、表示窓のコントラストやタイマーなどの設定項目を選びます（22、58、66〜68、78〜80）。

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

16 I/⏻（電源）ボタン

17 STANDBY（スタンバイ）ボタン
タイマーの予約をするときに使います（78～80）。

18 CLOCK（クロック）/DELETE（デリート）ボタン
時計の設定や、MDの文字入力に使います（21、68）。

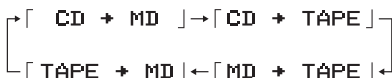
19 TIMER（タイマー）/INSERT（インサート）ボタン
タイマーの設定や、MDの文字入力に使います（68、78～80）。

20 EDIT（エディット）ボタン
MDの編集をするときに使います（58～68）。

21 YES（イエス）•ENTER（エンター）ボタン
選んだ項目を決定します。

22 NO（ノー）•CANCEL（キャンセル）ボタン
選んだ項目を取消します。

23 REC MENU（レコーディングメニュー） NORM（ノーマル）ボタン
MDにシンクロ録音するとき、音源と録音先を選びます。押すたびに次のように切り換わります（27、35、53、54、71、72）。

→「 CD → MD 」→「CD → TAPE」→「MD → TAPE」→「TAPE → MD」→（最初に戻る）

24 TAPE REC（テープレコーディング）ボタン
テープにマニュアル録音します（43、44、74）。

25 VOL（ボリューム）（音量）＋、－ボタン

26 REC MODE（レコーディングモード）ボタン
MDに録音中：ステレオ録音、LP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音を切り換えます（27、35、40）。
テープに録音中：録音する面を切り換えます（44、71、73）。

27 SOUND（サウンド）ボタン
5種類から好きな音質を選びます（77）。

28 DISPLAY（ディスプレイ）•カナ／英数（表示切り換え•文字入力切り換え）ボタン
表示窓の情報を切り換えます（45、46）。
MDの文字入力をするときに入力モードを切り換えるのに使います（68、70）。

29 🗀/GROUP（グループ）/TUNE（チューン）－、＋ボタン
ATRAC CD/MP3 CDやMDのグループを選びます（24、47、48、50、52、59、60、63、66）。
放送局を選びます（37）。

30 REPEAT（リピート）ボタン
選んだプレイモードを繰り返し再生します（51）。

31 GROUP（グループ） (MD)ボタン
MDのグループ再生モードのON／OFFを切り換えます(52)。

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

接続する

コードはしっかり差し込んでください。間違った接続は誤動作の原因になります。

AMループアンテナ

FMアンテナ

本体（後面）

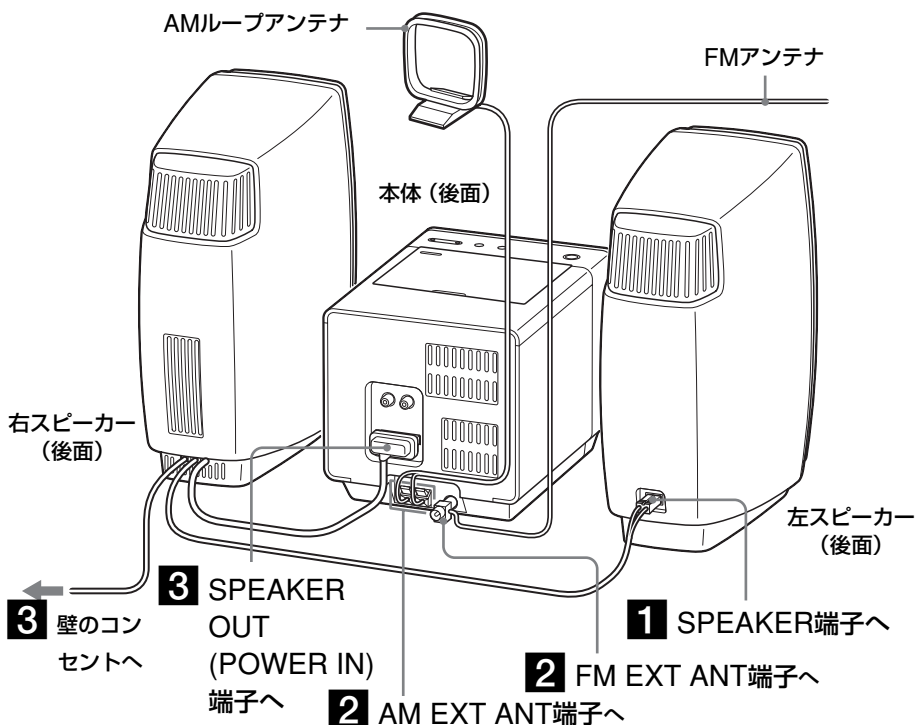
右スピーカー（後面）

左スピーカー（後面）

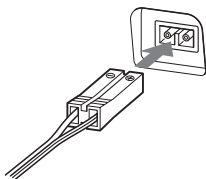
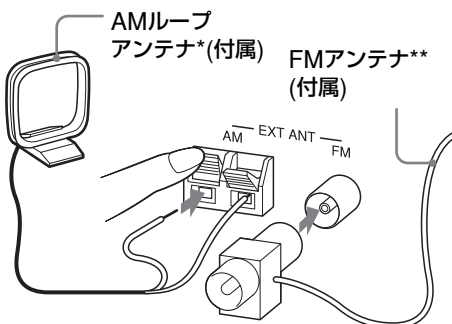
3 壁のコンセントへ

3 SPEAKER OUT (POWER IN) 端子へ

2 AM EXT ANT端子へ

2 FM EXT ANT端子へ

1 SPEAKER端子へ

1 スピーカーを接続する

右のスピーカーから出ているスピーカーコードを、左のスピーカーのSPEAKER端子に接続する。

2 アンテナを本体に接続する

* ループアンテナを最も受信状態の良い方向へ向ける。

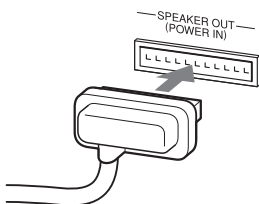
** アンテナはできるだけ水平に伸ばす。

次のページへつづく

接続する（つづき）

AMループアンテナを組み立てる

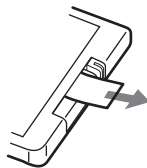
3 電源コードを接続する

1 右のスピーカーから出ている接続コードを本体のSPEAKER OUT (POWER IN)端子に接続する。

2 右のスピーカーから出ている電源コードのプラグを壁のコンセントへつなぐ。

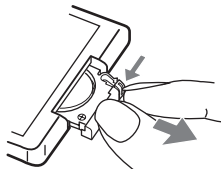
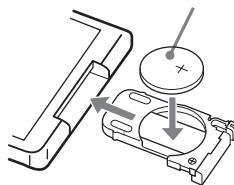
ご注意

初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、メモリー保持のため本体を充電してください。電源コードをつないでから、約1時間で充電されます（その間も本機をお使いになれます）。
電源コードを抜くときは、本体の電源を切ってから抜いてください。本体の電源を切らずに電源コードを抜いたり、停電があった場合には、記憶させた時計やタイマーなどの内容が消えることがあります。記憶させた内容が消えた場合、それぞれ設定し直してください。

リモコンの準備をする

絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にする。
リモコンには電池がすでに入っています。

電池の交換について

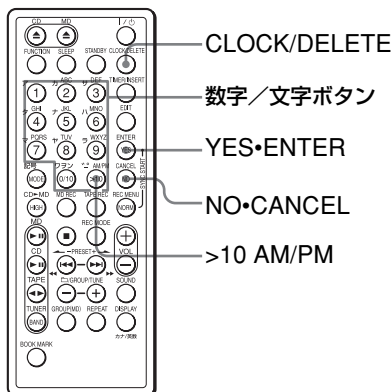
電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。
下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。ふつうの使い方で約6ヶ月もちます。

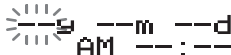
1 電池ケースを取り出す。

2 ＋と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2025を新しい電池と取り換える。

3 電池ケースを元に戻す。

ご注意

- リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

時計を合わせる

本機の時計表示は、時計を合わせるまで「– –:– –」のままです。
時計を合わせておくと、MDに録音したとき、自動的に録音日時が記録されます。

1 西暦年の数字が点滅するまで、CLOCK/DELETEボタンを押したままにする。

西暦年の下2桁が点滅します。

2 年月日を合わせる。

① 数字／文字ボタンを押して「年」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。
「月」の数字が点滅します。
② 数字／文字ボタンを押して「月」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。
「日」の数字が点滅します。
③ 数字／文字ボタンを押して「日」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。
「時」と「分」の数字が点滅します。

3 時刻を合わせる。

① 数字／文字ボタンの>10 AM/PMボタンを押して「AM」か「PM」を合わせる。
② 数字／文字ボタンを「時」「分」の順に押す。
例）8:45のときは、8→4→5の順に押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

途中で間違えたときは

NO•CANCELボタンを押します。
最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

現在の日時を表示するには

停止中、再生中またはマニュアル録音（39、55、73ページ）中にリモコンのCLOCK/DELETEを押します。
1回押すと時刻が、2回押すと時刻と年月日が表示されます。
元の表示に戻すには、もう1回押します。

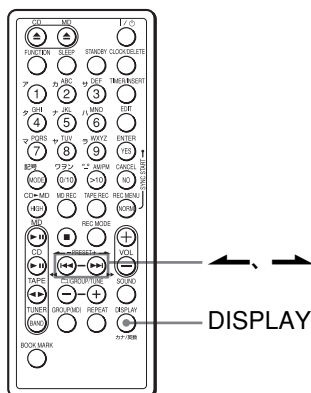
ご注意

電源コードを抜くと時計の表示が「– –:– –」に戻る場合があります。その場合はもう一度時計を合わせ直してください。

ちょっと一言

本機の時計は12時間表示です。
真夜中 :「AM12:00」
正午　:「PM12:00」

表示窓のコントラストを調節する

表示窓のコントラストをお好みに合わせて調節できます。

1　電源を切った状態でDISPLAYボタンを約2秒間押す。

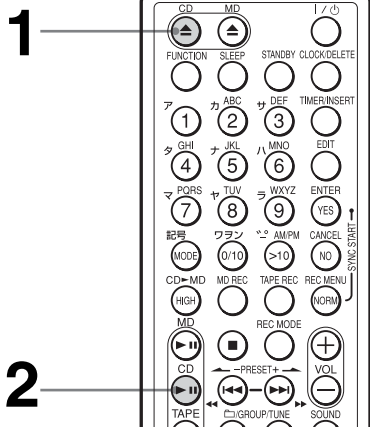
「Contrast 0」の表示が出ます。

2　◄━または━►ボタンを押してコントラストを調節する。

コントラストの強弱を–7～+7の範囲で調節できます。

ご注意

電源コードを抜くと表示窓のコントラストの数値が「0」に戻る場合があります。その場合はもう一度表示窓のコントラストを合わせ直してください。

CDを聞く

準備➡「接続する」(19、20ページ)をご覧ください。

1

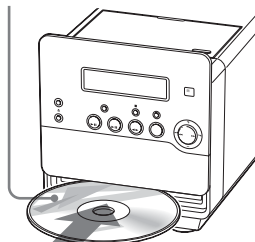
CD

CD⏏ボタンを押してCDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、フロントパネルが上がります。CDのラベル面(文字のある面)を上に向けて、スロットに差し込んでください。
CDを入れると、自動的にフロントパネルが下がります。

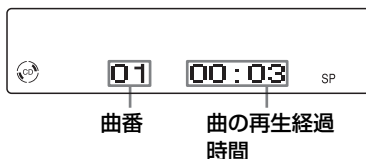
文字のある面を上に

2

CD

CD►IIボタンを押す。

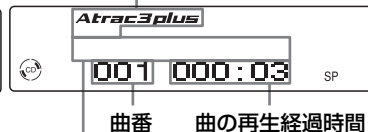
再生が始まります。

表示窓
音楽CD

曲番
曲の再生経過時間

ATRAC CD/MP3 CD

ATRACまたはMP3表示

Atrac3plus
001 000:03 SP

曲番
曲の再生経過時間

ATRAC CD：曲名またはアーティスト名
MP3 CD：ID3タグに曲名やアーティスト名が記録されていれば表示される。曲名が記録されていなければファイル名が表示される。

次のページへつづく

その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOL＋、－
再生を止める	■
再生中に一時停止する	CD▶❚❚*1 もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	⏮、短くポンと押す。
次の曲へ進む	⏭、短くポンと押す。
次のグループに進む*2	🗀/GROUP/TUNE +
前のグループに戻す*2	🗀/GROUP/TUNE –
CDを取り出す*3	CD⏏
電源を入/切する	I/⏻

*1 凸点（突起）がついています（リモコンのみ）。操作の目印としてお使いください。

*2 ATRAC CDまたはMP3 CDのみ

*3 フロントパネルを開けると、次の再生は1曲目から始まります。

ご注意

- 本機はCDを再生する前に、CDに記録されているグループとファイルの全情報を読み込みます。読み込み中は「Reading」が表示され、内容によっては読み込みに時間がかかる場合があります。
- ATRAC CD/MP3 CDなどたくさんの曲が入っているCDでは、各操作で情報の読み込みに時間がかかり、すぐに次の操作に進まない場合があります。
- 8cm CDを入れるときは、スロットの中央部に差し込んでください。
- CDを取り出すとき、CDの動作状態によっては時間がかかることがありますが、故障ではありません。

ちょっと一言

- ヘッドホンで聞くには、ヘッドホンを🎧端子につなぎます。
- 音楽CDの再生を一度止めても、次にCD▶❚❚ボタンを押すと止めた曲の頭から再生が始まります。またATRAC CDやMP3 CDでは、止めたところから再生が始まります（リジューム再生）。停止中に■ボタンをもう一度押すか、CD⏏ボタンを押してフロントパネルを開閉すると、次の再生はCDの1曲目から始まります。

ご注意

- ATRAC3plusとMP3ファイルが混在したディスク、またはオーディオトラック（CDDA）やそれ以外のフォーマットのファイルが混在したディスクは、再生できない場合があります。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。

ATRAC CDについて

- ATRAC3plusファイルを書き込んだディスクは、パソコンのドライブでは再生できません。

MP3 CDについて

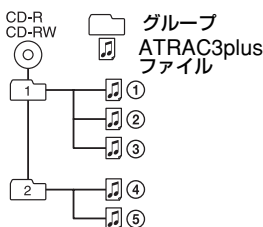
- プレイリストファイルに使える文字は半角英数字のみです。
- MP3ファイルには、「mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のファイルに「mp3」の拡張子を付けると、そのファイルは正しく認識されません。
- 本機で再生できるビットレートは16～320 kbps、サンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。また、可変ビットレート(VBR)にも対応しています。
- MP3ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、書き込みソフトで「追記禁止」の設定をしてください。
- 未使用のCD-R/CD-RWディスクに最大容量まで1回で記録する場合は、書き込みソフトで「Disc at（ディスクアット） Once（ワンス）」の設定をしてください。

ATRAC3plusやMP3 CDのファイル構造

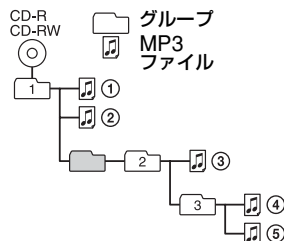
ATRAC3plusは、「グループ」と「ファイル」から成り立つ、非常に簡単な構造になっています。「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので、音楽CDの「アルバム」に相当します。グループの中にグループを作ることはできません。
MP3ファイルが記録されたCDでも、「ファイル」は「曲」に、「グループ」は「アルバム」に相当します。本機では、MP3のフォルダも「グループ」と認識し、同じ操作で使用できます。

ATRAC3plusやMP3 CDの構造と再生順

ATRAC CDでは、SonicStageで選んだ曲順に再生されます。
MP3 CDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。また、MP3ファイルを含まないグループはとばして再生します。再生するMP3ファイルの順番を記載した「プレイリスト」も再生できます。下記MP3 CDの例では、①から⑤の順にファイルが再生されます。

•ATRAC3plus

使用できるグループ数とファイル数

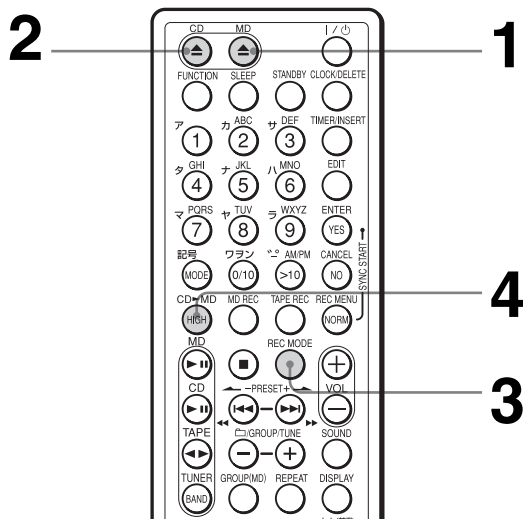
- 最大グループ数：255
- 最大ファイル数：99

•MP3

使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：100
- 最大ファイル数：400*
- 最大階層：8

* ファイル数にはグループ数を含みます。

ちょっと一言

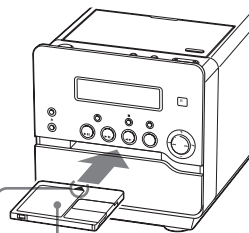
- 本機では、グループ名とファイル名はATRAC CD では62文字、MP3 CDでは28文字まで表示できます。
- 本機で表示できるATRAC CD/MP3 CDの文字は以下の通りです。
  - A～Z
  - a～z
  - 0～9
  - ! “ # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ~

ここだけ読んでも使えます

CDをMDにまるごと録音する
（高速シンクロ録音）（CD-MDシンクロ録音）

準備➡「接続する」（19、20ページ）をご覧ください。

1

MD⏏ボタンを押して録音用MDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、フロントパネルが上がります。MDのラベル面を上に向けて、スロットの中央に差し込んでください。

MDを入れると、自動的にフロントパネルが下がります。

2

CD⏏ボタンを押してCDを入れる。

フロントパネルが上がります。
CDのラベル面（文字のある面）を上に向けて、スロットに差し込んでください。
CDを入れると、自動的にフロントパネルが下がります。

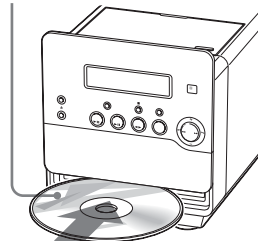
3

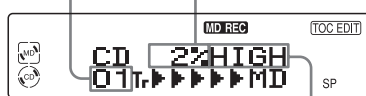
REC MODEボタンを押して録音モードを選ぶ。

ボタンを押すたびに「SP」→「LP2」→「LP4」と切り換わります。

録音モード*1	表示	録音時間*2
ステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分

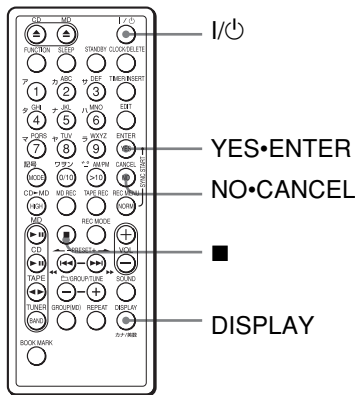
*1 より高音質の録音を行いたい場合は、SP録音、LP2録音を選んでください。
*2 80分ディスク使用時。

4

高速録音するには、CD►MD HIGHボタン(本体では、HIGH SPEED RECボタン)を押す。(通常の速度で録音するには、REC MENU NORMボタン繰り返し押して「CD → MD」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。)

自動的に録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音してある部分の後ろに録音されます。

高速録音中はスピーカーやヘッドホンから音は出ません。

録音が終わると、CD、MDとも自動的に停止します。

次のページへつづく

その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を途中で止める	■
電源を入/切する	I/⏻

「--:-- Short」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。

CDを最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。

その他のメッセージが表示されたときは88、89ページをご覧ください。

録音途中でMDが終わってしまったときは

CD、MDとも自動的に停止します。

ご注意

- **TOC EDIT 録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 「LP2」または「LP4」で録音した内容を「LP2」または「LP4」に対応していない機器で再生・編集しようとすると「LP:」と表示され、再生・編集できません。
- 録音中に音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

- 通常の速度で録音しているときには、DISPLAYボタンを押すとMDの曲番、MDの録音可能時間、CDの曲番号、録音経過時間が表示されます。
- MDに録音した曲を消去するには、「曲を消す」（62ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- 録音できるのはオーディオトラック（CDDA）だけです。その他の音楽ソース（ATRAC3plus、ATRAC3、MP3など）は録音できません。
- MDLPまたはMDLPロゴのある機器が「LP2」、「LP4」に対応しています。
- LP4ステレオ録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。そのため、録音されるソースによってはごくまれに瞬間的なノイズが発生する恐れがあります。音質を重視される場合は、ステレオ録音（SP）またはLP2ステレオ録音（LP2）を推奨します。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的にMDに記録されます（21ページ）。
- 録音中に曲名、グループ名、ディスク名を付けることができます（67～70ページ）。
- MDに録音した曲を消去するには、「曲を消す」（62ページ）をご覧ください。

長時間録音について

通常のステレオ録音に加えて、録音時間を2倍（LP2）または4倍（LP4）に長くしてステレオ録音することができます。
本機で長時間録音（「LP2」「LP4」）した内容は、長時間再生に対応していない他の機器では再生できません。

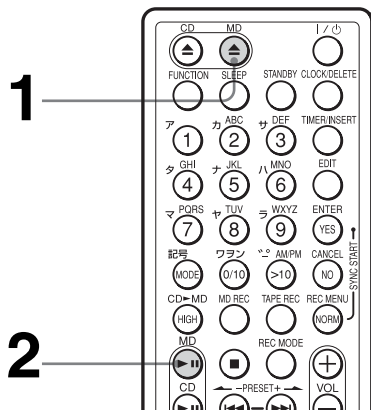
高速録音についてのご注意

- 同じ曲を続けて高速録音することはできません（HCMS: ハイスピードコピーマネージメントシステム、95ページ参照）。高速録音した曲が直前の74分以内に録音されたものだった場合は、その曲は通常の速度で録音されます。そのとき、スピーカーやヘッドホンから音は出ません。
  1枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。
- 高速録音中に曲の途中で録音が止まると、その曲は録音されません。
- 高速録音中に、CDの汚れや傷などにより高速録音にエラーが生じた場合は、自動的に速度を落として録音します。
- CD-RWから録音するときは、高速録音できません。

MDを聞く

準備➡「接続する」(19、20ページ)をご覧ください。

1

MD

MD≜ボタンを押してMDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、フロントパネルが上がります。MDのラベル面を上に向けて、スロットの中央に差し込んでください。

MDを入れると、自動的にフロントパネルが下がります。

2

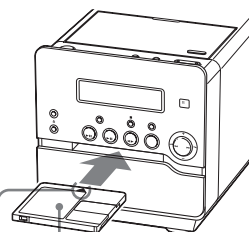
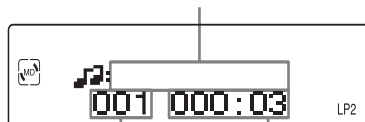
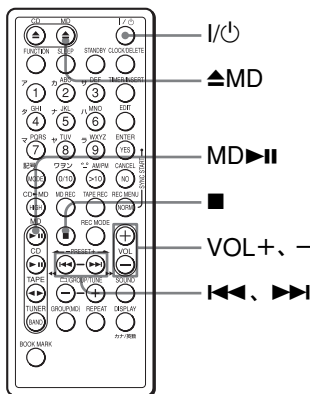
MD

MD►IIボタンを押す。

再生が始まります。

その他の操作

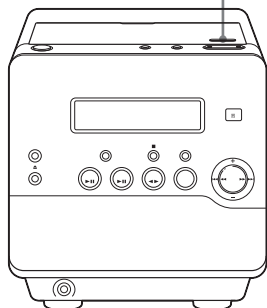
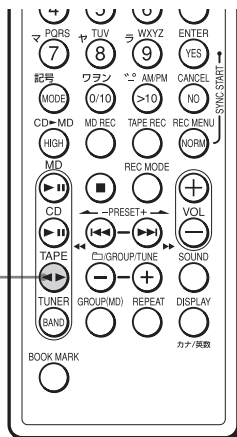
こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOL＋、－
再生を止める	■
再生中に一時停止する	MD▶II* もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	⏮ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	⏭ 短くポンと押す。
MDを取り出す	MD⏏
電源を入/切する	I/⏻

* 凸点（突起）がついています（リモコンのみ）。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

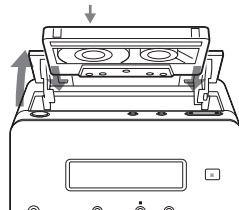
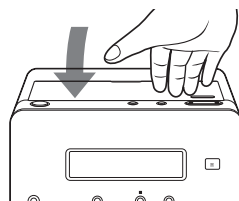
- 本機はMDを再生する前に、MDに記録されている情報を読み込みます。読み込み中は「Reading」が表示され、内容によって読み込みに時間がかかる場合があります。
- 録音された方法により、ステレオ再生／LP2ステレオ再生／LP4ステレオ再生は自動的に切り換わります（27ページ）。
- MDが本体から飛び出た状態で⏏CDボタンや⏏MDボタンを押すと、フロントパネルがMDにぶつかりますが、MDは傷付くことはありません。
- MDの再生を一度止めても、次にMD▶IIボタンを押すと止めた曲の頭から再生が始まります（リジューム再生）。停止中にもう一度■ボタンを押すか、MD⏏ボタンを押してフロントパネルを開閉すると、次の再生は1曲目から始まります。
- グループを指定して曲を選ぶには、「MDのグループ内の曲を聞く」（52ページ）をご覧ください。

テープを聞く－TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡「接続する」(19、20ページ)をご覧ください。

1

⏏PUSH OPENを押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。

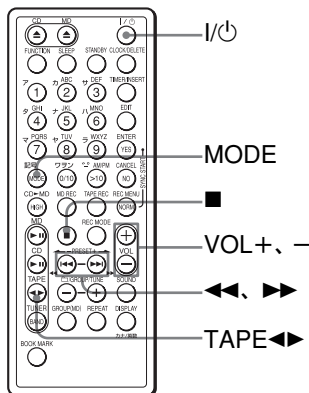
聞きたい面を上に

2

⏏PUSH OPENを押してカセットぶたを閉める。

3

TAPE◄►ボタンを押す。

自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示窓

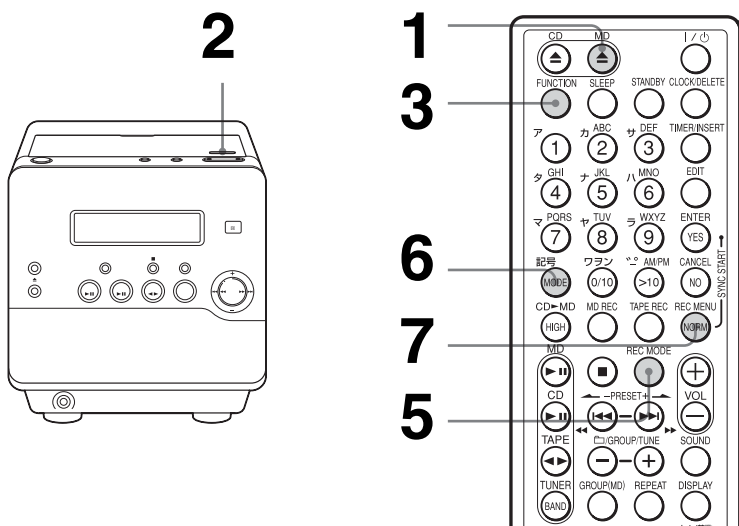
その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOL＋、－
再生を止める	■
反対面を再生する	再生中にTAPE◀▶
早送りや早戻しをする	◀◀または▶▶
カセットを取り出す	⏏PUSH OPEN
電源を入/切する	I/⏻

ちょっと一言

カセットぶたを開けると、走行方向は常に▶向きになります。

走行の方法（ディレクションモード）を選ぶには

MODEボタンを押すたびに、下のように切り換わります。

	表示窓
片面だけ再生する	⇄
両面を再生する	⇄⊃
両面を繰り返して再生する	⊂⇄⊃

ここだけ読んでも使えます

テープをMDにまるごと録音する
(TAPE-MDシンクロ録音)

準備➡「接続する」(19、20ページ)をご覧ください。

1

MD⏏ボタンを押して録音用MDを入れる。

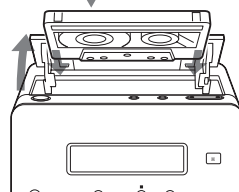
ボタンを押すと自動的に電源が入り、フロントパネルが上がります。MDのラベル面を上に向けて、スロットの中央に差し込んでください。

MDを入れると、自動的にフロントパネルが下がります。

2

⏏PUSH OPENを押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。

TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。
閉めるときも⏏PUSH OPENを押します。

3

FUNCTIONボタンを繰り返し押して「TAPE」を表示させる。

4

MDに録音を始めたいところでテープを停止しておく。

5

REC MODEボタンを押して録音モードを選ぶ。

ボタンを押すたびに「SP」→「LP2」→「LP4」と切り換わります。

録音モード*1	表示	録音時間*2
ステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分

*1 より高音質の録音を行いたい場合は、SP録音、LP2録音を選んでください。

*2 80分ディスク使用時。

6

MODEボタンを押して、ディレクションモードを選ぶ。

⇄：片面を再生するとき

⇄⊃：両面を再生するとき

⊂⇄⊃：両面を繰り返し再生するとき

7

REC MENU NORMボタンを繰り返し押して「TAPE → MD」を表示させ、YES•ENTERボタンを押して決定する。

自動的に録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音してある部分の後ろに録音されます。

表示窓

録音を終えると、テープ、MDとも自動的に停止します。

次のページへつづく

その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を途中で止める	■
電源を入/切する	I/⏻

「Disc Full」が表示されたら

曲がいっぱいでこれ以上録音できません。

その他のメッセージが表示されたときは88、89ページをご覧ください。

録音途中でMDが終わってしまったときは

MD、テープとも自動的に停止します。

ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 「LP2」または「LP4」で録音した内容を「LP2」または「LP4」に対応していない機器で再生・編集しようとすると「LP:」と表示され、再生・編集できません。
- 録音中に音量や音質を調節しても録音される曲には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

- 録音中にDISPLAYボタンを押すとMDの曲番、MDの録音可能時間が表示されます。
- 録音中に曲名を付けることができます（67～70ページ）。
- テープに2秒以上の無音部分があるときは、自動的に連続した曲番がMDに付きます。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的にMDに記録されます（21ページ）。
- MDに録音した曲を消去するには、「曲を消す」（62ページ）をご覧ください。

ラジオを聞く

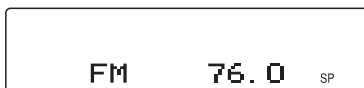
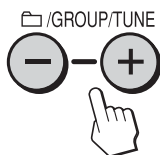
準備➡「接続する」（19、20ページ）をご覧ください。

1

TUNER BANDボタンを押してFM、またはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM」または「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

表示窓

FM 76.0 SP

2

/GROUP/TUNE+または－を押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。聞きたい放送局を受信するまでこの操作を繰り返すか、自動で受信できなかったときは、/GROUP/TUNE+または－を繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

FMステレオ受信のとき出る

ST

FM 81.3 SP

次のページへつづく

その他の操作

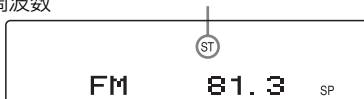
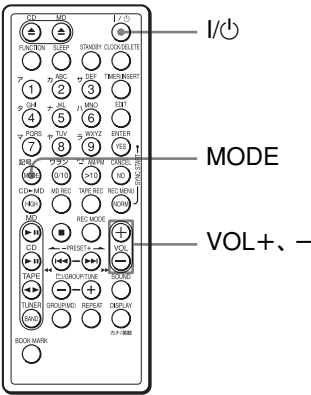
こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOL＋、－
電源を入/切する	I/⏻

受信状態をよくする

FM放送のとき

アンテナを窓の近くなど受信状態のよい場所に、できるだけ水平にまっすぐ伸ばす(19ページ)。

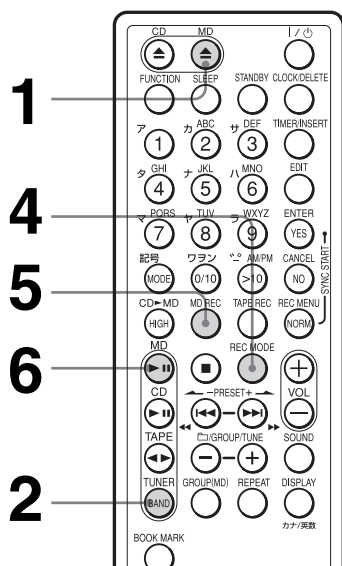
AM放送のとき

ループアンテナの向きを変えて、最も受信状態の良い方向へ向ける(19ページ)。

ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、MODEボタンを押して、表示窓に「Mono」を表示させせます。音はモノラルになります。
- よく聞く放送局は、あらかじめ記憶させておくと便利です(プリセット)。プリセットについて、詳しくは75ページをご覧ください。

ラジオを録音する
（マニュアル録音）

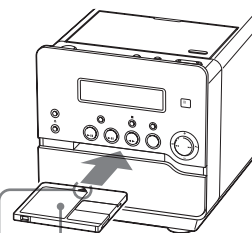
MDに録音する

準備➡「接続する」（19、20ページ）をご覧ください。

1

MD⏏ボタンを押して録音用MDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、フロントパネルが上がります。MDのラベル面を上に向けて、スロットの中央に差し込んでください。

MDを入れると、自動的にフロントパネルが下がります。

2

TUNER BANDボタンを押してFM、またはAMを選ぶ。

次のページへつづく

3

録音したい放送局を受信する。

(放送局を受信するには、37、76ページをご覧ください。)

4

REC MODE

REC MODEボタンを押して録音モードを選ぶ。

ボタンを押すたびに「SP」→「LP2」→「LP4」と切り換わります。

録音モード*1	表示	録音時間*2
SP録音	SP	約80分
LP2録音	LP2	約160分
LP4録音	LP4	約320分

*1 より高音質の録音を行いたい場合は、SP録音、LP2録音を選んでください。
*2 80分ディスク使用時。

5

MD RECボタンを押す。

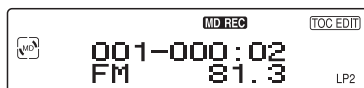
「MD REC」表示が点滅し、MDが一時停止状態になります。

6

MD►IIボタンを押す。

録音が始まります。

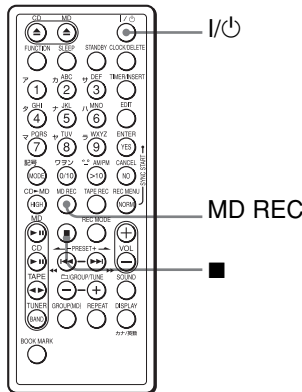
表示窓

MD REC　TOC EDIT
001-000:02
FM　81.3
LP2

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音してある部分の後ろに録音されます。

録音は止めるまで続きます。

その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を止める	■
電源を入/切する	I/⏻

録音途中でMDが終わってしまったときは

MDは自動的に停止します。

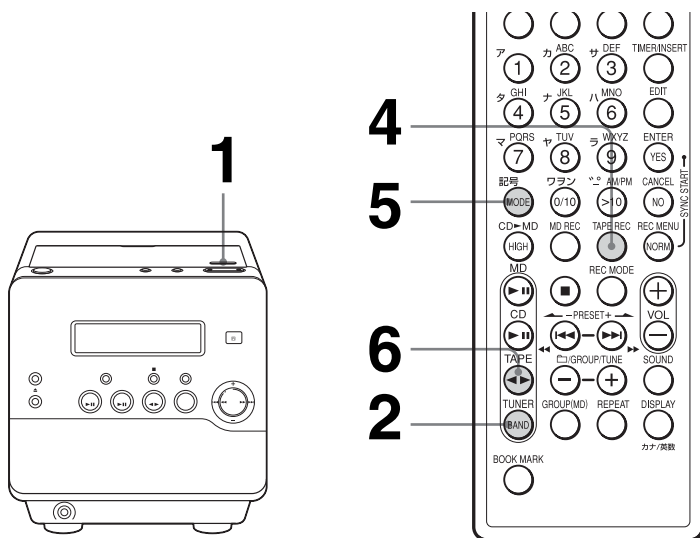
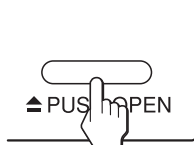
ちょっと一言

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 「LP2」または「LP4」で録音した内容を「LP2」または「LP4」に対応していない機器で再生・編集しようとすると「LP:」と表示され、再生・編集できません。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（21ページ）。
- 録音中に曲名を付けることができます（67〜70ページ）。
- 録音の途中でMD RECボタンを押すと、押した位置に新しいトラックマーク（曲番）が付きます。
- MDに録音した曲を消去するには、「曲を消す」（62ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

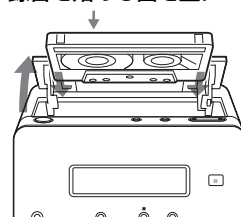
テープに録音する

準備➡「接続する」(19、20ページ)をご覧ください。

1

≜PUSH OPENを押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。

TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。
閉めるときも≜PUSH OPENを押します。

録音を始める面を上に

2

TUNER BANDボタンを押してFM、またはAMを選ぶ。

3

録音したい放送局を受信する。

(放送局を受信するには、37、76ページをご覧ください。)

4

TAPE RECボタンを押す。

「TAPE REC」表示が点滅します。

テープが一時停止状態になります。

5

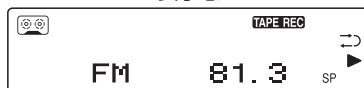
MODEボタンを繰り返し押して、ディレクションモードを選ぶ。

片面録音するときは⇄を、両面録音するときは⇄⊃を表示させます。

6

TAPE◀▶ボタンを押す。

録音が始まります。

表示窓

録音は止めるまで続きます。

次のページへつづく

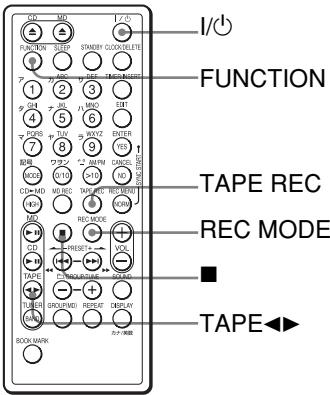
その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を止める	■
電源を入/切する	I/⏻

録音途中でテープが終わってしまったときは

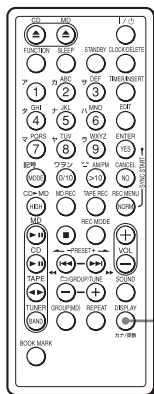
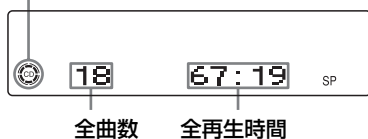
テープは自動的に停止します。

テープに録音した曲を消去するには

1 曲を消したいカセットを入れる。
2 FUNCTIONボタンを繰り返し押して「TAPE」を表示させる。
3 TAPE RECボタンを押す。
4 TAPE◀▶を押す。

ちょっと一言

- カセットぶたを開けると、走行方向は常に▶向きになります。下の面に録音したいときは、43ページの手順6の前でREC MODEを押して、◀を表示させます。
- 両面録音（⇄）のときは、上の面から録音を始めてください。下の面（◀）から始めると、下の面の終わりで録音が止まってしまいます。
- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。

表示窓の見かた

DISPLAYボタンを繰り返し押して、CDまたはMDの情報を確認することができます。

CD停止中*

音楽CDの場合

ATRAC CD/MP3 CDの場合

1曲目の曲名が記録されている場合は曲名が表示される

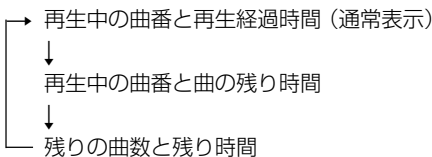
* 一時停止中や、再生中に■ボタンを1回押したとき、ダイレクト選曲の直後など、一時的な停止状態は含みません。

CD再生中

DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

音楽CDの場合

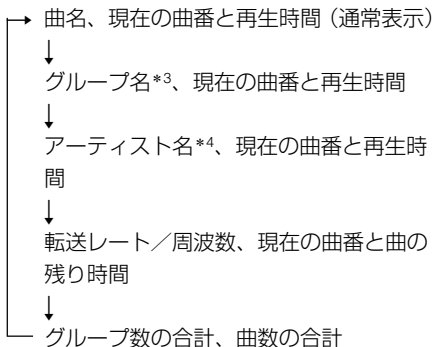
→ 再生中の曲番と再生経過時間（通常表示）
↓
再生中の曲番と曲の残り時間
↓
残りの曲数と残り時間

ご注意

シャッフル再生（48ページ）、プログラム再生（50ページ）、リピート再生（51ページ）のときは、残りの曲数と再生残り時間は表示されません。

ATRAC CD/MP3 CDの場合

ATRAC CDではSonicStageで入力した情報が表示されます*1。ID3タグ*2入りのMP3 CDではID3タグの情報が表示されます。

表示される記号とその意味

記号	その意味
	曲名
	アルバム名
	アーティスト名
	グループ名

次のページへつづく

*1 本機で表示できるATRAC CD/MP3 CDの文字について詳しくは、25ページをご覧ください。
*2 ID3タグとは、曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットのことです。本機はバージョン1.0/1.1/2.2/2.3に対応しています。
それ以外のバージョンをご使用になると、ID3タグの情報が正しく表示されません。バージョン2.2/2.3はunsynchronized、compressed、encrypted形式には対応していません。
*3 MP3 CDで、曲がグループに入っていないときは、「ROOT」と表示されます。ID3タグにアルバム名が付いていれば、アルバム名が表示されます。
*4 曲名やアーティスト名が記録されていないときは、「－－－－－」と表示されます。

MD停止中*1

ディスク名と全曲数、全再生時間が表示されます。グループ再生モード（52ページ）で停止しているときは、グループ内の曲についての情報がそれぞれ表示されます。

MDマーク

@:SELECTION
021 038:58 LP2

全曲数　全再生時間

DISPLAYボタンを押すと、録音可能時間が表示されます*2。

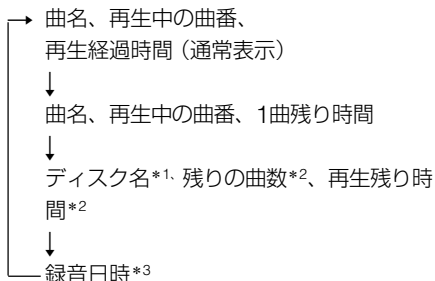
*1 一時停止中や、再生中に■ボタンを1回押したとき、ダイレクト選曲の直後など、一時的な停止状態は含みません。
*2 グループ再生モードが選ばれているときは、録音可能時間は表示されません。

ちょっと一言

曲名、ディスク名、グループ名が表示されるのは、MDにそれぞれが記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

MD再生中

DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

→ 曲名、再生中の曲番、
再生経過時間（通常表示）
↓
曲名、再生中の曲番、1曲残り時間
↓
ディスク名*1、残りの曲数*2、再生残り時間*2
↓
録音日時*3

*1 グループ再生モード（52ページ）で再生しているときは、グループ名が表示されます。
*2 グループ再生モードで再生しているときは、グループ内の曲についての情報が表示されます。
*3 時計を合わせておくと、録音したときに自動的に録音日時が記録されます（21ページ）。

ちょっと一言

曲名、ディスク名、グループ名が表示されるのは、MDにそれぞれが記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

ご注意

シャッフル再生（48ページ）、プログラム再生（50ページ）、リピート再生（51ページ）のときは、「ディスク名、残りの曲数と、再生残り時間」は表示されません。

聞きたい曲を選ぶ

（ダイレクト選曲/サーチ）

CDまたはMDの聞きたい曲の再生を、数字／文字ボタンですぐに再生を始めることができます。また、◀◀、▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ（ダイレクト選曲）	曲番の数字／文字ボタンを押す。
聞きながら探す（サーチ）	再生中に◀◀、▶▶ボタンを押したままにする。 指を離すと、そこから再生されます。
表示窓の再生時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中に◀◀、▶▶ボタンを押したままにする。 指を離すと、その位置で一時停止になります。

ATRAC CD/MP3 CDでは

今聞いているグループの中の曲だけダイレクト選曲できます。

他のグループを選ぶには、/GROUP/TUNE +または–ボタンを押します。

MDのグループ再生モードのときは

選ばれているグループの中の曲だけダイレクト選曲できます。

グループを選ぶには、52ページをご覧ください。

ご注意

シャッフル再生（48ページ）、ブックマークトラック再生（49ページ）、m3uプレイリスト再生（50ページ）、プログラム再生（50ページ）のときは、ダイレクト選曲はできません。

ちょっと一言

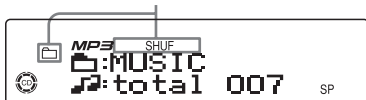
- 10曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタン（1～0）を押します。
  例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。
  10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- 100曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタンを押します。

いろいろな再生方法(プレイモード)で楽しむ

再生方法（プレイモード）をかえて、好きな曲だけを聞いたり、順番を並べかえて聞くことができます。プレイモードと詳しい操作については右の一覧表とそれぞれの説明をご覧ください。
また、選んだプレイモードを繰り返して聞くこともできます。詳しくは51ページをご覧ください。

CDまたはMDの停止中に操作してください。

1 **MODEボタンを繰り返し押して希望のプレイモードを表示させる。**

プレイモード表示

2 **CD►II（またはMD►II）ボタンを押す。**

選んだプレイモードで再生が始まります。

通常再生に戻すには

再生を停止させてから、プレイモードの表示が消えるまでMODEボタンを繰り返し押します。

プレイモード一覧

ATRAC CD/MP3 CD

「ブックマークトラック再生」と「m3uプレイリスト再生」は、あらかじめ設定した場合のみ選べます。

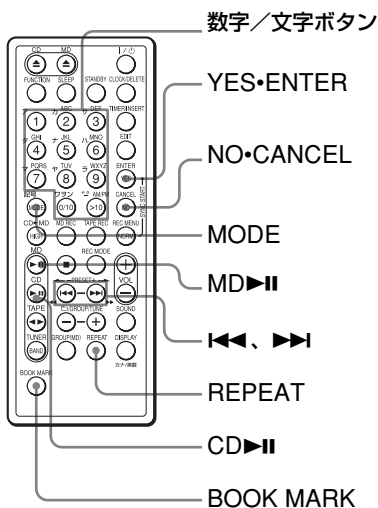
表示（プレイモード）	再生のしかた
表示なし（通常再生）	CDに録音されている全曲を、曲番順に1回再生します。
🗀（グループ再生）	選んだグループの全曲を再生します。
1（1曲再生）	現在再生中の曲だけを1回再生します。
SHUF（シャッフル再生）	CDに録音されている全曲を、順不同に1回再生します。
🗀 SHUF（グループ内シャッフル再生）	選んだグループの全曲を順不同に1回再生します。他のグループを選ぶときは、🗀/GROUP/TUNE +または–ボタンを押して希望のグループを表示させてから、CD►IIボタンを押します。
Bookmark（ブックマークトラック再生）	ブックマークを付けた好きな曲だけを再生します。ブックマークの付けかたについて、詳しくは49ページをご覧ください。
（m3uプレイリスト再生）	選んだm3uプレイリスト*の曲を再生します（MP3 CDのみ）。操作について、詳しくは50ページをご覧ください。
PGM（プログラム再生）	CDの曲を最大20曲まで好きな曲順に並べかえて再生します。操作について、詳しくは50ページをご覧ください。

* m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/CD-RWを作成したときに使用できます。

音楽CD/MD

表示 （プレイモード）	再生のしかた
表示なし （通常再生）	CDまたはMDに録音されている全曲を、曲番順に1回再生します。
SHUF （シャッフル再生）	CDまたはMDに録音されている全曲を、順不同に1回再生します。
PGM （プログラム再生）	CDまたはMDの曲を最大20曲まで、好きな曲順に並べ換えて再生します（50ページ）。

ちょっと一言

- シャッフル再生中は⏮ボタンを押して前の曲に戻すことはできません。
- 音楽CD/MDでは、シャッフル再生中またはプログラム再生中はリジューム再生（24、31ページ）できません。
- MDのグループ内の曲だけを再生するには、「MDのグループ内の曲を聞く」（52ページ）をご覧ください。
- MDのグループ再生モード（52ページ）が選ばれているときは、グループ内の曲をシャッフル再生します。また、プログラム再生では、グループ内の曲だけ選べます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマークトラック再生）（ATRAC CD/MP3 CDのみ）

1 **ブックマークを付けたい曲を再生し、BOOK MARKボタン（本体ではCD▶IIボタン）を2秒以上押す。**

「Bookmark Set」と表示されます。登録されると「🖋」の点滅がゆっくりになります。

2 **手順1を繰り返してブックマークを付けていく。**

ATRAC CDでは、1枚のCDにつき最大999曲まで、MP3 CDでは、1枚のCDにつき最大400曲までブックマークを付けられます。

3 **停止中にMODEボタンを繰り返し押して「🖋 Bookmark」を表示させる。**

4 **CD▶IIボタンを押す。**

ブックマークを付けた曲が再生されます。

ブックマークを消す

ブックマークを消したい曲を再生し、BOOK MARKボタン（本体ではCD▶IIボタン）を2秒以上押します。「Bookmark Cancel」と表示されます。

ブックマークの付いている曲を確認する

ブックマークの付いている曲の演奏中は、「🖋」がゆっくり点滅しています。

次のページへつづく

いろいろな再生方法（プレイモード）で楽しむ（つづき）

ご注意

- ブックマークトラック再生では、ブックマークを付けた順番には関係なく、曲番の小さいほうから再生されます。
- CD⏏ボタンを押してフロントパネルを上げるか電源を切ると、ブックマークの記憶はすべて消えます。
- 数字／文字ボタンでは、ブックマークを付けた曲を直接選ぶことはできません。

選んだプレイリストの曲を聞く *（m3uプレイリスト再生）（MP3 CDのみ）*

MP3 CDの停止中に操作してください。

1 MODEボタンを繰り返し押して「▤」を表示させる。

2 ⏮または⏭ボタンを押してお好きなプレイリストを選び YES•ENTERボタンを押す。

プレイリストファイルについて

本機で使用できるプレイリストファイルは、テキストエディターなどで作成できます。音楽ファイルのパス（保存場所とファイル名）を演奏順に記述し、拡張子を「m3u」（大文字でも可）にしてディスクに記録します。

ご注意

- パスの区切りに使用できるのは「¥」、「\」のみです。
- プレイリストファイルには、半角英数字を使用してください。

プレイリストの例

プレイリストが記録されているメディアのルートからのパスを入力します。
例：
¥Music¥Popular¥New¥01new.mp3
¥Music¥Popular¥New¥May¥may01.mp3

- 本機では最大2個までのプレイリストファイルを認識します。
- 本機では1つのプレイリストファイルで最大128曲まで認識します。
- 本機では、プレイリスト内の1行は、フォルダ名、ファイル名とも、28文字まで表示できます。
  例：¥ABC¥XYZ¥TEST.MP3
  ↓ 28文字以下　↓ 28文字以下

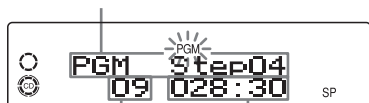
聞きたい曲を好きな順に聞く *（プログラム再生）*

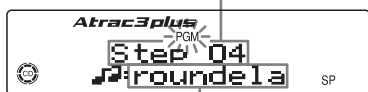
CDまたはMDの停止中に操作してください。

1 MODEボタンを繰り返し押して「PGM」を表示させる。

2 聞きたい順に、曲番の数字／文字ボタンを押していく。

この操作を繰り返します。

（音楽CD/MDの場合）

ATRAC CD/MP3 CDで他のグループの曲を選ぶときは、🗀/GROUP/TUNE +または–ボタンを押してグループを選んでから、曲を選びます。

（ATRAC CD/MP3 CDの場合）

この操作を繰り返します。

3 **CD►II（またはMD►II）ボタンを押す。**

プログラムした順に再生が始まります。

ちょっと一言

- MDでグループ再生モード（52ページ）が選ばれているときは、グループ内の曲に限りプログラムできます。
- 曲番を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押してから、数字／文字ボタンで曲を選び直します（音楽CD/MDのみ）。
- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。CD►II（またはMD►II）ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- CDを取り出すとCDのプログラムの内容が消え、MDを取り出すとMDのプログラムの内容が消えます。
- 音楽CD/MDではプログラム再生中はリジューム再生（24、31ページ）はできません。

曲順を確認する

再生を始める前にYES•ENTERボタンを押します。

ボタンを押すたびにプログラムした順で曲番が表示されます。

プログラムを変更する

再生を始める前に変更します。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す（音楽CD/MDのみ）	1 NO•CANCELボタンを押す。最後にプログラムした曲が消えます。 2 プログラムし直す。
プログラムをし直す	1 ■ボタンを押してプログラムをすべて消す。 2 初めからプログラムをし直す。

繰り返し聞く（リピート再生）

1 **聞きたいプレイモードで再生を始める（48〜51ページ）。**

2 **REPEATボタンを押して「REP」（音楽CD/MDの通常再生では「REP1」）を表示させる。**

選んだプレイモードで繰り返し再生されます。

音楽CD/MDでプレイモードが通常再生のときは、「REP 1」が表示され、再生中の1曲だけが繰り返し再生されます。もう一度押すと「REP」が表示され、音楽CD/MDの全曲が繰り返し再生されます。

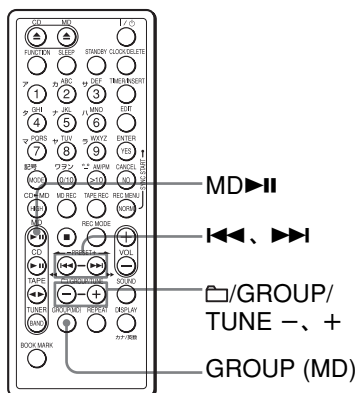
リピート再生をやめる

REPEATボタンを繰り返し押して「REP」または「REP 1」を消します。

ちょっと一言

- 停止中でもリピート再生にすることができます。REPEATボタンを繰り返し押して「REP 1」、「REP」を表示させます。そのあとCDまたはMDをお好きなプレイモードに設定して再生します。
- MDのグループ再生モード（52ページ）で再生しているときは、グループ内の曲を繰り返し再生します。

MDのグループ内の曲を聞く *（グループ再生モード）*

MDの編集機能を使ってグループに設定した、お気に入りの曲だけを聞くことができます。グループ設定機能について、詳しくは「グループを作る」（58ページ）をご覧ください。

MDの停止中に操作してください。

1 GROUP (MD)ボタンを押して「GP」を表示させる。

2 🗀/GROUP/TUNE ＋または−ボタンを押して聞きたいグループを選ぶ。

グループ再生モードのとき表示される

3 MD▶IIボタンを押す。

再生が始まり、グループ内の最後の曲の再生が終わると、自動的に停止します。

こんなときは	押すボタン
前のグループに戻す	🗀/GROUP/TUNE −
次のグループへ進む	🗀/GROUP/TUNE ＋
前の曲へ戻す	I◀◀
次の曲へ進む	▶▶I

グループ再生モードをOFFにするには

停止させてからGROUP(MD)ボタンを押して「GP」を消します。

ご注意

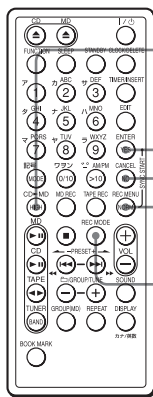
グループ再生モードで再生しているときは、グループに登録されていない曲は表示、再生できません。

ちょっと一言

グループ再生モードでもシャッフル再生、プログラム再生、リピート再生をすることができます（48〜51ページ）。

CDの再生中の曲だけを録音する

(REC IT録音–MD)

再生中の曲だけを、ボタンひとつでその曲の頭から録音できます。聞いている曲をすぐに録音したいとき便利です。

1 録音用MDを入れる。

2 再生するCDを入れ、録音したい曲を再生する。

3 REC MODEボタンを押して録音モードを選ぶ。

押すたびに表示窓に「SP」「LP2」「LP4」が順に表示されます。詳しくは27ページをご覧ください。

4 高速録音するには、CD►MD HIGHボタン（本体ではHIGH SPEED RECボタン）を押す。

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音してある部分の後ろに録音されます。
選んだ曲の録音が終わるとMDは自動的に停止しますが、CDの再生は続きます。
高速録音中はスピーカーやヘッドホンから音は出ません。

音楽を聞きながら通常の速度で録音するには

上記手順4で、
1 REC MENU NORMボタンを繰り返し押して、「CD → MD」を表示させます。
2 YES•ENTERボタンを押します。
再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。

「--:-- Short」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。
再生中の曲を最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。

ご注意

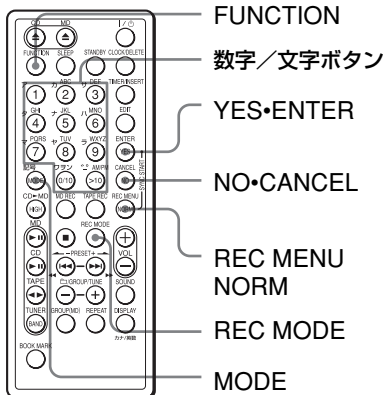
- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 高速録音についてのご注意は29ページをご覧ください。
- 音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（21ページ）。
- 録音中に曲名を付けることができます（67～70ページ）。
- MDに録音した曲を消去するには、「曲を消す」（62ページ）をご覧ください。

CDから好きな曲を選んで録音する

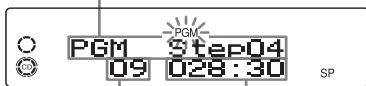
（CD-MDプログラムシンクロ録音）

CDの好きな曲を好きな順番で20曲まで録音できます。

1 録音用MDを入れる。

2 CDを入れる。

3 FUNCTIONボタンを繰り返し押して「CD」を表示させる。

4 CD停止中にMODEボタンを繰り返し押して「PGM」を表示させる。

5 聞きたい順番に、曲番の数字／文字ボタンを押していく。

6 REC MODEボタンを押して録音モードを選ぶ。

押すたびに表示窓に「SP」「LP2」「LP4」が順に表示されます。詳しくは27ページをご覧ください。

7 REC MENU NORMボタンを繰り返し押して、「CD→MD」を表示させる。

8 YES•ENTERボタンを押す。

録音が始まります。
すでに録音してあるMDを入れたときは、録音してある部分の後ろに録音されます。
選んだ曲の録音が終わるとCD、MDとも自動的に停止します。

録音を止めるには

■を押します。

「--:-- Short」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。プログラムした曲を最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。

ご注意

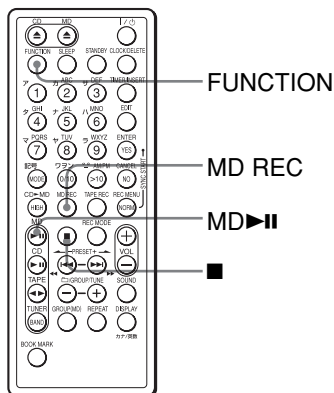
- TOC EDIT 録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。録音されないことがあります。
- 音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。
- プログラムシンクロ録音は、高速録音できません。

ちょっと一言

- 曲番を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押してから、数字／文字ボタンで曲を選び直します。
- ⏮または⏭ボタンでも曲を選べます。⏮または⏭ボタンで希望の曲番を表示させ、曲番が点滅している間にYES•ENTERボタンを押して決定します。この操作を繰り返します。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（21ページ）。
- 録音中に曲名、ディスク名、グループ名を付けることができます（67～70ページ）。
- MDに録音した曲を消去するには、「曲を消す」（62ページ）をご覧ください。

マニュアルで録音する

（マニュアル録音–MD）

CDやテープ、ラジオからお好みに応じて録音ができます。例えば、CDやテープの好きな部分だけを録音することができます。

1 録音用MDを入れる。

2 FUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」など録音したい音源を表示させる

- CD：本機のCDの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- TUNER：本機のラジオの音を録音する
- LINE：裏面のLINE IN端子につないだ機器から録音する

CDの曲を録音するときは、録音を始めたいところで一時停止にしておきます。また、テープの音を録音するときは、録音を始めたい曲を選んで停止しておきます。

MDに録音する

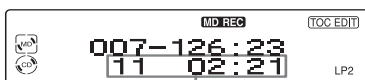
次のページへつづく

マニュアルで録音する（マニュアル録音–MD）（つづき）

3 MD RECボタンを押す。

「MD REC」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

4 MD▶IIを押してから録音したい音源を再生する。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音してある部分の後ろに録音されます。

再生している音源の情報が表示される

録音を止めるには

■を押します。録音を止めても、音源の再生は続きます。

ご注意

- CDから録音するとき、手順3のあとで■ボタンやCD⏏ボタンを押すと、録音も停止します。
- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 録音中に音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

- 音源に2秒以上の無音部分があるときは、自動的に次の曲番が付けられることがあります。
- 音源や音源の状態によっては、曲番が正しく付かない場合があります。
- CD以外の音源からの録音中にMD RECボタンを押すと、押した位置に新しいトラックマーク（曲番）が付きます。
- MDに録音した曲を消去するには、「曲を消す」（62ページ）をご覧ください。

編集する前に

本機では、MDの録音中や録音後に、曲名やディスク名などを付けたり、たくさんの曲の中から好きな曲をまとめてグループを作ることができます。また、好きな位置にトラックマーク（曲番）を付ければ、頭出しのときなどに便利です。

ご注意

- 再生専用ディスクは編集はできません。
- 誤消去防止つまみを閉めてください（91ページ）。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

グループ機能とは

1枚のMDに録音された複数の曲を、CDアルバム別やアーティスト別などお好きなグループに分けて、再生したり編集する機能です。曲を探すときも、全曲から探すよりグループを選んでから探す方が簡単です。グループは、99まで設定することができます。グループ再生について詳しくは、「MDのグループ内の曲を聞く」（52ページ）をご覧ください。

グループ再生モードOFF時

グループ再生モードON時

グループに登録した曲だけがグループ別に再生される

グループ情報の記録のされかた

グループ機能を使って編集すると、グループ情報は、「ディスク名」として自動的にMDに記録されます。具体的には次のような文字列がディスク名の記録領域に書き込まれます。

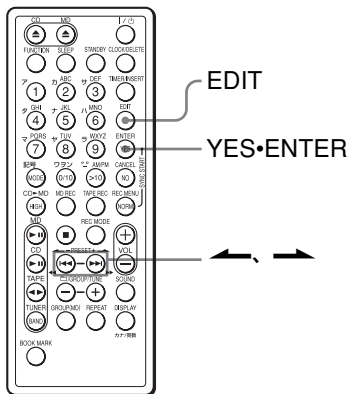
例） 0;Favorites//1-5;Rock//6-9;Pops//
①（0;Favorites//）②（1-5;Rock//）③（6-9;Pops//）

①ディスク名：「Favorites」
②1曲目から5曲目のグループ名：「Rock」
③6曲目から9曲目のグループ名：「Pops」

そのため、グループ機能を使って編集したMDを、グループ機能未対応機器やグループ機能を働かせていない対応機器で読み込むと、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。

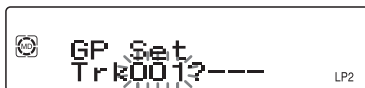
MD編集

グループを作る

（グループ機能）

グループを設定する（グループセット）

すでに録音されている複数の曲をグループにまとめます。曲番は、グループごとに1から順に付きます。

1 停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Set」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

2 ◀━または━▶ボタンを押してグループの先頭にしたい曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。

3 ◀━または━▶ボタンを押してグループの最後にしたい曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。

4 68ページの手順3〜4にしたがってグループ名を付ける。

5 YES•ENTERボタンを押す。
グループが設定されます。

ちょっと一言

連続していない曲番（例えば1曲目と5曲目）をグループにまとめることはできません。連続していない曲を同じグループに設定したい場合は、まず曲順を変えてください（「曲順を変える」65ページ）。

新しいグループを作って録音する

CDやテープからシンクロ録音している曲を新しいグループとして設定できます。

1 CDやテープの内容をまるごと新しいグループに設定したいときは、シンクロ録音（26、34ページ）を行う。
CDの好きな曲だけを選んで新しいグループに設定したいときは、プログラムシンクロ録音（54ページ）を行う。

2 録音中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Name」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

3 68ページの手順3〜4にしたがってグループ名を付ける。

4 名前をつけ終わったらYES•ENTERボタンを押す。
グループ名が記録され、現在録音している全曲が一つのグループとして録音されます。

ちょっと一言

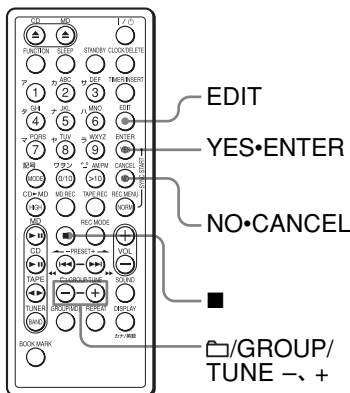
- マニュアル録音中も、同じようにグループを作ることができます。
- 録音中に、曲名やディスク名を付けることもできます（67、68ページ）。

ご注意

- 途中で録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。
- グループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

グループを解除する

（グループリリース機能）

グループ名を指定するだけで、グループ設定を簡単に解除することができます。

1 **停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Release」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。**

2 **/GROUP/TUNE +または–ボタンを押して解除したいグループ名を表示させる。**

3 **YES•ENTERボタンを押す。**

「Release OK?」が表示されます。

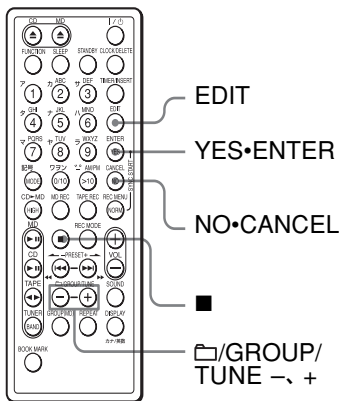
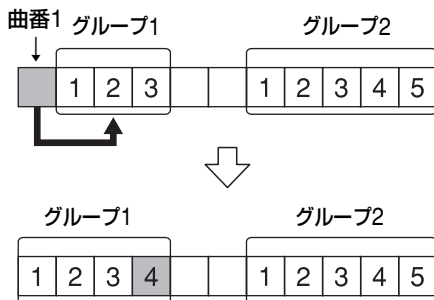
中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 **YES•ENTERボタンを押す。**

「TOC Edit」が消えたあと、グループが解除されます。

MD編集

曲をグループに入れる（グループイン機能）

例）グループ再生モードOFF時の曲番1をグループ1に入れる

1 グループ再生モードをOFFにして（52ページ）、グループに入れたい曲を再生する。

2 一時停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP In」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

1曲リピート再生になります。

3 /GROUP/TUNE +または–ボタンを押して曲を入れるグループ名を表示させる。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「GP In OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

5 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、選んだグループのいちばん後ろに曲が入ります。

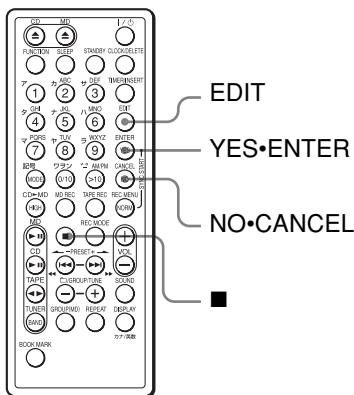
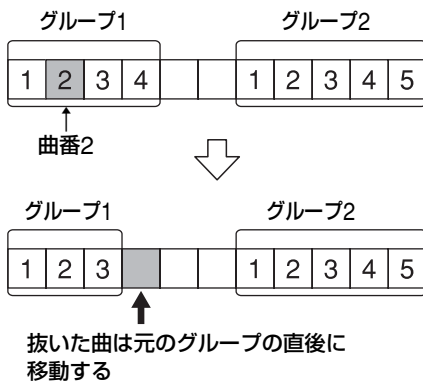
ちょっと一言

グループ再生モードをOFFにしても、新しい曲番順で再生されます。

ご注意

「Cannot Edit」が表示されたら、すでにグループに入っている曲をグループに入れようとしています。

曲をグループから抜く

（グループアウト機能）

例）グループ1の曲番2を抜く

1 グループから抜きたい曲を再生する。

2 一時停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Out」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

その曲が入っているグループ名が表示され、1曲リピート再生になります。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「GP Out OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、グループから曲が抜かれます。

ちょっと一言

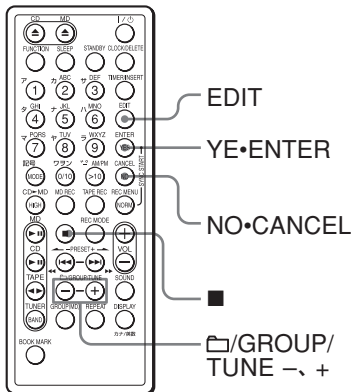
グループ再生モードをOFFにしても、新しい曲番順で再生されます。

ご注意

- 「Cannot Edit」が表示されたら、グループに入っていない曲をグループから抜こうとしています。
- グループ内の曲をすべてグループから抜くと、グループは消えます。

曲を消す（イレース機能）

MDに録音した曲は、次の3つの方法で消すことができます。

- 1曲ずつ消す
- MDのすべての内容を消す
- グループごとに消す

一度消した曲は元に戻すことができません。消す前に、内容をよく確認してください。

1曲ずつ消す

1曲まるごと消せます。曲を消すと、次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。

1 消したい曲を再生する。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Track Erase」を表示させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Erase OK?」が表示され、1曲リピート再生になります。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、再生中の曲が消えます。

ご注意

グループ内の曲をすべて消すと、そのグループは消えます。

MDのすべての内容を消す

一度に、MDの中の全曲と全曲名、ディスク名を消すことができます。消したあとは新しいMDと同じように使えます。

1 停止中にEDITボタンを繰り返し押して「All Erase」を表示させる。

2 YES•ENTERボタンを押す。

「Erase OK?」が表示されます。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「TOC Edit」が消えたあと、「Blank Disc」が表示され、入れてあるMDの内容がすべて消えます。

グループごとに消す

一度に、グループ内の全ての曲を消すことができます。

1 停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Erase」を表示させる。

2 YES•ENTERボタンを押す。

グループ名が表示されます。

3 🗀/GROUP/TUNE +または–ボタンを押して消したいグループのグループ名を表示させる。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「Erase OK?」が表示されます。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

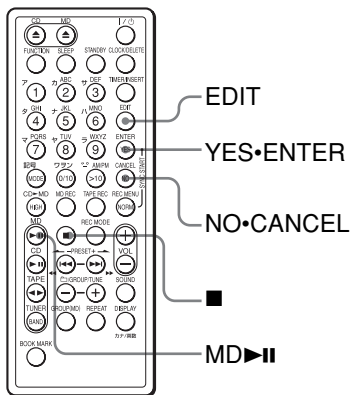
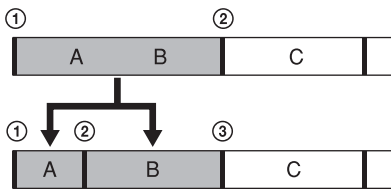
NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

5 YES•ENTERボタンを押す。

「TOC Edit」が消え、選んだグループとそのグループ内の曲が全て消えます。

曲を2つに分ける

（ディバイド機能）

曲の途中にトラックマーク（曲番）を付けて、1つの曲を2つに分けることができます。分けた曲とそれ以降の曲には、自動的に連続した曲番が付きます。

例）1つの曲をA、Bに分ける

曲番②を付けて曲を2つに分ける

再生中に分ける

1 再生中、曲を分けたいところでMD►IIボタンを押す。

再生一時停止状態になります。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Divide」を表示させる。

次のページへつづく

MD編集

曲を2つに分ける（ディバイド機能）（つづき）

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Divide OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、分けた位置に曲番が付きます。分ける前に付いていた曲名は、前の曲だけに付き、後の曲には曲名が付きません。

ちょっと一言

一度分けた曲を元に戻すには右の「2つの曲を1つにする」をご覧ください。

ご注意

「Sorry」が表示されたらその曲を分けることはできません。
MDは何度も編集を繰り返すと分けられなくなることがあります。これは、MDのシステム上の制約で、故障ではありません。MDのシステム上の制約について詳しくは、94〜96ページをご覧ください。

マニュアル録音中に分ける

CD以外の音源から録音中に、曲番を付けることができます。

1 MDにマニュアル録音を始める（55ページ）。

2 曲番を付けたいところでMD RECボタンを押す。

押した位置に新しい曲番が付きます。

ちょっと一言

CDからの録音中は、CDの曲の情報が自動で読み込まれ、曲ごとに新しい曲番が付きます。

2つの曲を1つにする

（コンバイン機能）

連続した2つの曲を1曲にまとめることができます。つないだ曲とそれ以降の曲には、自動的に連続した曲番が付きます。

例）B曲とC曲をつなぐ

C曲の曲番を取り、B曲とC曲をつなぐ

1 つなぎたい曲を再生する。

例えばB曲とC曲をつなぐときは、C曲を再生します。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Combine」を表示させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Combine OK?」が表示され、再生一時停止になります。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

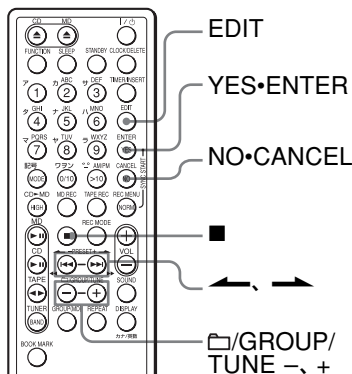
「Complete」が数秒間表示され、曲がつながります。つないだ2曲両方に曲名や録音日時が付いている場合は、後の曲の記録が消えます。

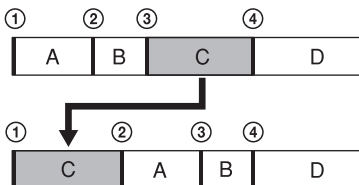
ご注意

- 「Sorry」が表示されたら、その2曲はつなぐことができません。
  MDは何度も編集を繰り返すと、つなげなくなることがあります。これはMDのシステム上の制約で、故障ではありません。MDのシステム上の制約について詳しくは、94〜96ページをご覧ください。
- 「Cannot Edit」が表示されたら、MDの1曲目でコンバインされようとしています。コンバイン機能は使えません。
- 別々のグループに設定されている曲をつなぐことはできません。
- ステレオ録音した曲とLP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音した曲など、異なる録音モードで録音された曲をつなぐことはできません。

曲順を変える

（ムーブ機能）

曲やグループを好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。

曲の順番を変える

例）C曲を1曲目に移動する

C曲を1曲目に移動する

1 移動させたい曲を再生する。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Track Move」を表示させる。

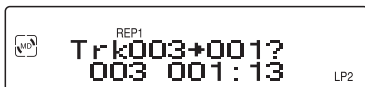
3 YES•ENTERボタンを押す。

上の例では「Trk 003→003?」が表示され、1曲リピート再生になります。

次のページへつづく

MD編集

4 ◀━または━▶ボタンを押して移動先の曲番を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

REP1
Trk003→001?
003 001:13
LP2

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

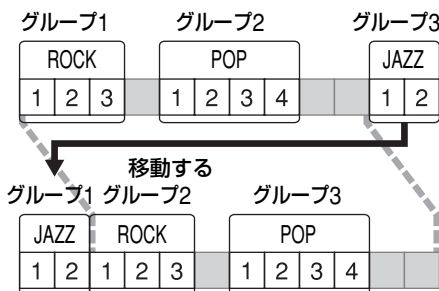
5 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、曲が移動します。

ご注意

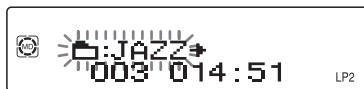
移動させたい曲がグループに設定されている場合、移動先が制限されます。移動できる曲番のみが手順4で表示されます。

グループの順番を変える

例）「JAZZ」グループを「ROCK」グループの前に移動する。

1 停止中にEDITボタンを繰り返し押して「GP Move」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

2 🗀/GROUP/TUNE +または–ボタンを押して移動させたいグループ名を表示させる。

「🗀：JAZZ　→」を表示させせます。

🗀:JAZZ→
003 014:51
LP2

3 YES•ENTERボタンを押す。

4 🗀/GROUP/TUNE +または–ボタンを押して移動先のグループ名を表示させる。

「→🗀：ROCK」を表示させせます。

5 YES•ENTERボタンを押す。

「GP Move OK?」が表示されます。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたは■ボタンを押します。

6 YES•ENTERボタンを押す。

「TOC Edit」が消え、グループが移動します。

ちょっと一言

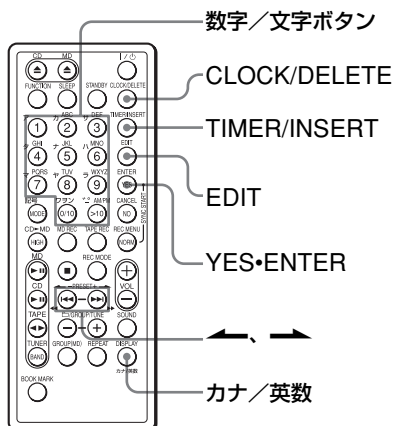
グループ再生モードをOFFにしても、新しい曲番順で再生されます。

曲名•ディスク名•グループ名を付ける

（ネーム機能）

録音中または録音後に、曲名、ディスク名やグループ名を記録することができます。
1枚のディスクにはアルファベット／数字／記号で最大約1700文字、カタカナ文字のみで最大約800文字まで入力できます。
本機で入力できるのは、下記の文字（半角文字）のみです。

本機で入力できる文字

- **カタカナ**
  アイウエオ……ャュョッ
- **アルファベット大文字**
  ABCD……WXYZ
- **アルファベット小文字**
  abcd……wxyz
- **数字・記号**
  0123456789!"#$%&()＊.；＜＝＞?@_`
  +−’，/：␣（スペース）

録音中に付ける

REC IT録音（53ページ）中は曲名のみが付けられます。その他の録音方法で録音するときは曲名、ディスク名、グループ名が付けられます。

CD-MDシンクロ録音、CD-MDプログラムシンクロ録音の場合

曲名、ディスク名、グループ名をそれぞれ50文字まで付けられます。曲名は25曲目まで記録できます。26曲目以降は録音後に付けてください（68ページ）。

1 録音中にEDITボタンを繰り返し押して「Track Name」、「Disc Name」または「GP Name」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

曲名を付ける場合：
「Track Name」
ディスク名を付ける場合：
「Disc Name」
グループ名を付ける場合：
「GP Name」

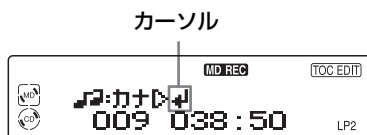
2 曲名の場合：
◀◀または▶▶ボタンを押してCDの曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。
ディスク名、グループ名の場合：手順3へ進む。

MD編集

次のページへつづく

曲名•ディスク名•グループ名を付ける（ネーム機能）（つづき）

3 文字を入力する。

① カナ／英数ボタンで文字入力モード（「カタカナ」または「英字・数字」）を選ぶ。
- カタカナ入力モード：「カナ」が表示されます
- 英字・数字入力モード：「AB」が表示されます

カーソル

② 数字／文字ボタンで名前を入力する（70ページ）。

③ ⟶ボタンでカーソルを右に移動させる。

文字の削除や追加には以下のボタンを使います。

ボタン	機能
⟵、⟶	カーソルを左右に移動する。
CLOCK/DELETE	文字を消す
TIMER/INSERT	空白を挿入する

4 手順3を繰り返し、名前を付ける。

5 名前を付け終わったらYES•ENTERボタンを押す。

曲名、ディスク名、グループ名が記録されます。

TAPE-MDシンクロ録音、マニュアル録音の場合

67ページのCD-MDシンクロ録音、CD-MDプログラムシンクロ録音の場合と同じように、曲名、ディスク名、グループ名をそれぞれ50文字まで付けられます。ただし、曲名はそのとき録音している曲まで付けられます。グループ名を付けたときは、録音を止めたところまでが一つのグループになります。

CDからのREC IT録音の場合

曲名のみ50文字まで記録できます。

1 録音中にEDITボタンを押す。

曲名入力表示になります。

2 左の手順3〜4にしたがって、名前を付ける。

3 名前を付け終わったらYES•ENTERボタンを押す。

曲名が記録されます。

録音後に付ける

録音後に曲名、ディスク名を付ける／変更する、またはグループ名を変更することができます。

1 曲名の場合：曲名を付けたい曲を再生する。ディスク名、グループ名の場合：MDを入れて停止状態にする。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Track Name」または「Disc Name」、「GP Name」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

曲名を付ける場合：
「Track Name」
ディスク名を付ける場合：
「Disc Name」
グループ名を変更する場合：
「GP Name」

3 68ページの手順3～4にしたがって、名前を付ける。

4 名前を付け終わったらYES•ENTERボタンを押す。

曲名、ディスク名、グループ名が記録されます。

名前を変更するには

手順1～2を行って、変更したい曲名、ディスク名、グループ名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、YES•ENTERボタンを押します。

ちょっと一言

- 曲名、ディスク名とも、それぞれ約100文字まで付けられます。
- すでに曲名、ディスク名、グループ名が記録されているMDのときは、記録されている曲名やディスク名、グループ名が表示されます。必要があれば68ページの手順3～4にしたがって名前を変更してから、YES•ENTERボタンを押して確定してください。

ご注意

- グループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- LP2、LP4で録音した曲は、自動的に「LP:」が曲名の頭に付いています。

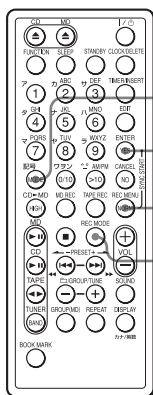
入力できる文字について

数字／文字ボタンの各ボタンに文字が割り当てられ、ボタンを押すたびに以下の順に文字が変わります。

ボタン	カタカナ入力（「カナ」表示）	英字・数字入力（「AB」表示）
1ア	ア→イ→ウ→エ→オ→ォ→ェ→ゥ→ィ→ァ→（アに戻る）	1
2カABC	カ→キ→ク→ケ→コ→（カに戻る）	A→B→C→a→b→c→2→（Aに戻る）
3サDEF	サ→シ→ス→セ→ソ→（サに戻る）	D→E→F→d→e→f→3→（Dに戻る）
4タGHI	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ→（タに戻る）	G→H→I→g→h→i→4→（Gに戻る）
5ナJKL	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→（ナに戻る）	J→K→L→j→k→l→5→（Jに戻る）
6ハMNO	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→（ハに戻る）	M→N→O→m→n→o→6→（Mに戻る）
7マPQRS	マ→ミ→ム→メ→モ→（マに戻る）	P→Q→R→S→p→q→r→s→7→（Pに戻る）
8ヤTUV	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ→（ヤに戻る）	T→U→V→t→u→v→8→（Tに戻る）
9ラWXYZ	ラ→リ→ル→レ→ロ→（ラに戻る）	W→X→Y→Z→w→x→y→z→9→（Wに戻る）
0/10ワヲン	ワ→ヲ→ン→（ワに戻る）	0
>10 ゛＿゜ AM/PM	゛→゜→ー→（゛に戻る）	―
記号	!→"→#→$→%→&→(→)→*→.→;→<→=→>→?→@→_→`→+→-→'→,→/→:→（!に戻る）	

CDやMDの再生中の曲だけを録音する

(REC IT録音–TAPE)

曲の頭を自動的に探して録音が始まるので、聞いている曲をすぐに録音したいとき便利です。

1 録音する面を上に向けて、カセットデッキに録音用のテープを入れる。

TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

2 再生するCDまたはMDを入れ、録音したい曲を再生する。

3 REC MENU NORMボタンを繰り返し押して、音源に合わせて「CD→TAPE」または「MD→TAPE」を表示させる。

4 MODEボタンを繰り返し押して、片面録音（⇄）か両面録音（⇄⊃）を選ぶ。

5 YES•ENTERボタンを押す。

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。

選んだ曲の録音が終ると、テープは自動的に停止しますが、CDまたはMDの再生は続きます。

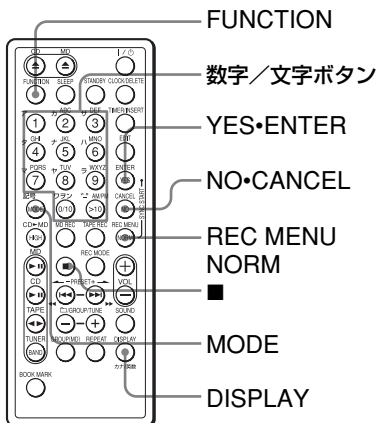
ちょっと一言

- カセットぶたを開けると、走行方向は常に▶向きになります。下の面に録音したいときは、手順5の前でREC MODEを押して、◀を表示させます。
- 両面録音（⇄⊃）のときは、上の面から録音を始めてください。下の面（◀）から始めると、下の面の終わりで録音が止まってしまいます。
- ⇄⊃を選んで録音すると、曲の途中で上の面が終っても、下の面にその曲の頭から録音し直します。
- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- テープに録音した曲を消去するには、44ページをご覧ください。

テープに録音する

CDやMDを録音する

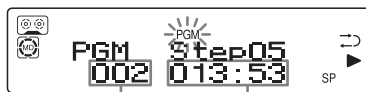
（CD-TAPEプログラムシンクロ録音）
（MD-TAPEプログラムシンクロ録音）

CDやMDをまるごと録音したり、CDやMDの好きな曲を好きな順番で録音したりできます。

1 **録音する面を上に向けて、カセットデッキに録音用のテープを入れる。**
TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

2 **CDまたはMDを入れる。**

3 **FUNCTIONボタンを繰り返し押して、音源の「CD」または「MD」を表示させる。**
まるごと録音するには、手順6へ進んでください。
好きな曲だけ選んで録音するには、手順4へ進んでください。

4 **CDまたはMDの停止中にMODEボタンを繰り返し押して、「PGM」を表示させる。**

5 **聞きたい順番に、曲番の数字／文字ボタンを押していく。**

6 **REC MENU NORMボタンを繰り返し押して、音源に合わせて「CD→TAPE」または「MD→TAPE」を表示させる。**

7 **MODEボタンを繰り返し押して、片面録音（⟷）か両面録音（⇄）を選ぶ。**

8 **YES•ENTERボタンを押す。**
録音が始まります。
選んだ曲の録音が終わると、テープ、CDまたはMDとも自動的に停止します。

録音を途中で止めるには

■を押します。

録音途中でテープが終わってしまったときは

テープ、CD、MDとも自動的に停止します。

ちょっと一言

- 曲番を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押してから、数字／文字ボタンで曲を選び直します。
- 録音中にDISPLAYボタンを押すと、再生中のCDまたはMDの曲番と再生時間が表示されます。
- MDがグループ再生モードのときは、グループ内の曲に限ってプログラムできます。選んでいるグループ以外の曲も録音するには、まずグループ再生モードをOFFにしてください（52ページ）。

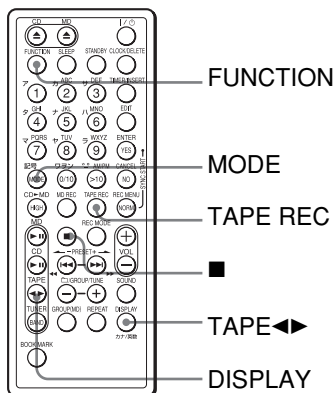
- カセットぶたを開けると、走行方向は常に▶向きになります。下の面に録音したいときは、手順8の前でREC MODEを押して、◀を表示させます。
- 両面録音（⥂）のときは、上の面から録音を始めてください。下の面（◀）から始めると、下の面の終わりで録音が止まってしまいます。
- ⥂を選んで録音すると、曲の途中で上の面が終っても、下の面にその曲の頭から録音し直します。
- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- テープに録音した曲を消去するには、44ページをご覧ください。

ご注意

録音開始時とテープが反転したとき、約8秒間無音録音になります。

マニュアルで録音する

（マニュアル録音ーTAPE）

CDやMD、ラジオからお好みに応じて録音ができます。例えば、CDやMDの好きな部分だけを録音することができます。

1 **録音する面を上に向けて、カセットデッキに録音用テープを入れる。**

TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

2 **FUNCTIONボタンを繰り返し押して、「TUNER」など録音したい音源を表示させる**

- CD：本機のCDの音を録音する
- MD：本機のMDの音を録音する
- TUNER：本機のラジオの音を録音する
- LINE：裏面のLINE IN端子につないだ機器から録音する

CDやMDから録音するときは、録音を始めたい曲を選んで停止しておきます。また、曲の途中から録音したいときは、一時停止にしておきます。

次のページへつづく

マニュアルで録音する（マニュアル録音−TAPE）（つづき）

3 TAPE RECボタンを押す。

「TAPE REC」が点滅し、テープが録音一時停止になります。

4 MODEボタンを繰り返し押して、片面録音（⟷）か両面録音（⇄）を選ぶ。

5 TAPE◀▶ボタンを押してから、録音したい音源の演奏を始める。

録音が始まります。

録音を途中で止めるには

■を押します。録音を止めても、音源の再生は続きます。

ちょっと一言

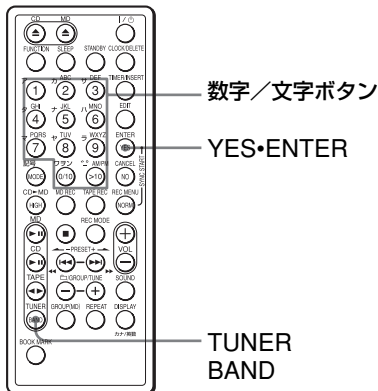
- CDやMDからの録音中にDISPLAYボタンを押すと、通常のCDやMDの再生時と同じように表示が切り換わります（45、46ページ）。
- カセットぶたを開けると、走行方向は常に▶向きになります。下の面に録音したいときは、手順5の前でREC MODEを押して、◀を表示させます。
- 両面録音（⇄）のときは、上の面から録音を始めてください。下の面（◀）から始めると、下の面の終わりで録音が止まってしまいます。
- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- テープに録音した曲を消去するには、44ページをご覧ください。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。

1 TUNER BANDボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

2 「Auto Preset」が点滅するまで、TUNER BANDボタンを押したままにする。

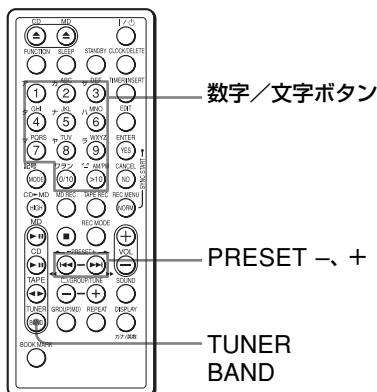
3 YES•ENTERボタンを押す。
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局だけが自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局を記憶させる、またはプリセット番号を選んで記憶させる

1. TUNER BANDボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
2. 記憶させたい放送局を受信させる。
3. 記憶させたいプリセット番号の数字／文字ボタンを約2秒間押したままにする。

ちょっと一言

プリセット番号が10番以降の場合は>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタンを押します。1の位の数のボタンを押すときは、約2秒間押してください。
10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
例：プリセット番号12の場合は、>10→1の順に押したあと、2を約2秒間に押します。

記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）

あらかじめ記憶させておいた放送局を簡単に選ぶことができます。

1 **TUNER BANDボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。**

2 **数字／文字ボタン、またはPRESET ＋/–ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。**

プリセット番号が10番以降の場合は、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタンを押します。

例：プリセット番号12の場合は、>10→1→2の順に押します。

好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選ぶことができます。臨場感のある音を楽しむことができます。

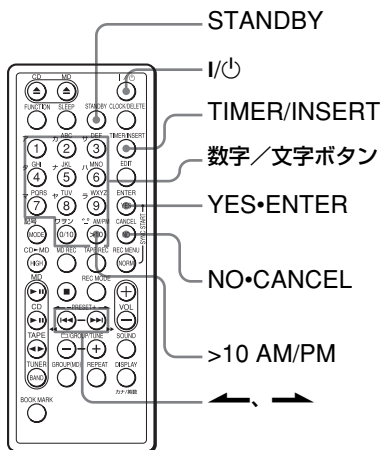
サウンド効果を楽しむ

SOUNDボタンを押す。
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。
希望の音質を選んでください。

表示	音質
Sound Rock	ロックなどに。 重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。
Sound Pop	ポップスなどに。 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。
Sound Jazz	ジャズなどに。 低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
Sound Vocal	ボーカルを聞きたいときに。 中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。
Sound Off	クラシックなどに。 ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。

音楽で目覚める

（目覚ましタイマー）

タイマー機能を使って、好きなCDやMDを目覚まし代わりにすることができます。本機の時計を合わせてから操作してください（21ページ）。

表示窓に「TIMER」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
MD	MDを入れる。
CD	CDを入れる。
テープ	カセットテープを入れる。
ラジオ	プリセット受信する。
LINE IN	LINE INにつないだ機器の電源を入れる。

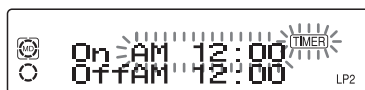
2 TIMER/INSERTボタンを押す。

このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

3 ◀または▶ボタンを押して「Play」を選び、YES•ENTERボタンを押して決定する。

4 ◀または▶ボタンを押して聞きたい音源（「MD Play」、「CD Play」、「TAPE Play」、「TUNER」、「LINE」）を選び、YES•ENTERボタンを押して決定する。

5 再生を始める時刻を設定する。

① 数字／文字ボタンの>10 AM/PMボタンを押して「AM」か「PM」を合わせる。

② 数字／文字ボタンを「時」「分」の順に押す。
例）6:45のときは、6→4→5の順に押します。

③ YES•ENTERボタンを押す。

6 同じように再生を止める時刻を設定する。

7 ◀または▶ボタンを押して希望の音量を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

次のページへつづく

8 STANDBYボタンを押す。
「TIMER」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に再生が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確かめたり、変更する

TIMER/INSERTボタンを押してから、YES•ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとで他の音源を聞く

電源を入れれば、通常の操作ができます。
予約した時刻になる前に電源を切ります。電源を切っておかないとタイマー機能は働きません。

タイマー再生を途中で止める

I/⏻ボタンを押して電源を切ります。

ちょっと一言

- 設定を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。
- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「TIMER」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ⏲は目覚しタイマーが動作中であることを示す表示です。

ご注意

目覚ましタイマーと録音タイマーは同時に予約できません。

タイマーを使って録音する *(録音タイマー)*

ラジオやつないだ機器の音を、タイマーを使って録音できます。留守中や深夜など、その場で録音できないときに便利です。
本機の時計を合わせてから操作してください（21ページ）。
操作の前に、表示窓に「TIMER」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 録音したい音源の準備をする。

音源	準備
ラジオ	プリセット受信する。
LINE IN	LINE INにつないだ機器の電源を入れる。

2 録音用のMDまたはテープを入れる。
すでに録音してあるMDを入れたときは、録音してある部分の後ろに録音されます。
テープは上の面から録音されます。録音したい面を上にして入れてください。

3 TIMER/INSERTボタンを押す。
このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

4 ◀━または━▶ボタンを押して「Rec」を選び、YES•ENTERボタンを押して決定する。

次のページへつづく

タイマー

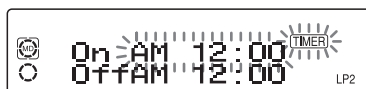
タイマーを使って録音する（録音タイマー）（つづき）

5 **◀━または━▶ボタンを押して録音先（「TUNER→MD」、「TUNER→TAPE」、「LINE→MD」、「LINE→TAPE」、）を選び、YES•ENTERボタンを押して決定する。**

テープに録音するときは、手順7へ進みます。

6 **MDに録音するときは、◀━または━▶ボタンを押して録音モード（「Stereo SP」、「Stereo LP2」、「Stereo LP4」）を選び、YES•ENTERボタンを押して決定する。**

7 **録音を始める時刻を設定する。**

① 数字／文字ボタンの>10 AM/PMボタンを押して「AM」か「PM」を合わせる。

② 数字／文字ボタンを「時」「分」の順に押す。
例）6:45のときは、6→4→5の順に押します。

③ YES•ENTERボタンを押す。

8 **同じように録音を止める時刻を設定する。**

9 **◀━または━▶ボタンを押して希望の音量を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。**

10 **STANDBYボタンを押す。**

「TIMER」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確かめたり変更するには

TIMER/INSERTボタンを押してから、YES•ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとで他の音源を聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。
予約した時刻の30秒前には電源を切っておきます。電源を切っておかないとタイマー機能は働きません。

タイマー録音を途中で止めるには

I/⏻ボタンを押して電源を切ります。

ちょっと一言

- 録音モード表示（SP、LP2、LP4）は、タイマー録音が始まるときに切り換わります。
- 設定を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。
- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「TIMER」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ⏲は録音タイマーが動作中であることを示す表示です。
- 予約時間の約30秒前になると自動的に電源が入り、約2秒前に録音を開始します。
- 深夜や留守のときにタイマー録音する場合は、あらかじめ音量を低く設定するか、ヘッドホンを🎧端子に差し込んでスピーカーから音が出ないようにします。

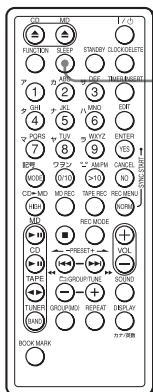
ご注意

録音タイマーと目覚ましタイマー（78ページ）は同時に予約できません。

音楽を聞きながら眠る *（スリープタイマー）*

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

1 聞きたい音楽の再生を始める。

2 SLEEPボタンを押して、「Sleep 60」を表示させる。

3 SLEEPボタンを押して時間（分）を選ぶ。

押すたびに「60」→「90」→「120」→「Off」→「10」→「20」→「30」と変わります。

SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。

表示窓のバックライト照明が消え、スリープ時間がカウントダウンを始めます。

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープタイマーを途中で止める

SLEEPボタンを押して「スリープ Off」を表示させます。

スリープ時間を変更する

手順2からやり直してください。

ちょっと一言

- 目覚ましタイマー（78ページ）とスリープタイマーを組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましタイマーを予約待機状態にしてから（78、79ページ）、電源を入れスリープタイマーをセットします。
- 目覚ましタイマーとスリープタイマーで違う音楽を聞くことができます。
- 目覚ましタイマーとスリープタイマーで違う音量を設定できます。たとえば、小さい音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

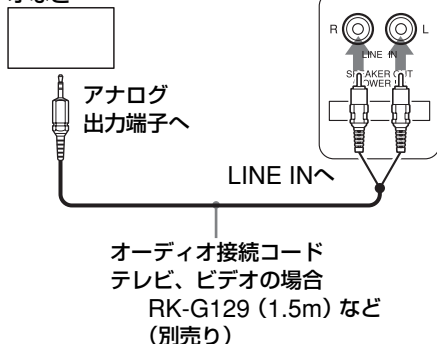
テレビ、ビデオなどの音を聞く

テレビ、ビデオの音を本機のスピーカーで聞いたり、本機のMDやテープに録音することができます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
接続する機器と本機の電源を必ず切ってから、接続してください。

1 別売りの接続コードを、接続する機器の出力端子と本機後面のLINE IN端子につなぐ。

2 電源を入れる。

3 FUNCTIONボタンを押して「LINE」を表示させる。

これで接続した機器の音を本機のスピーカーで再生できます。

ご注意

音が大きすぎるときはつないだ機器の音量を調整してください。

ちょっと一言

つないだ機器の音を録音するには、「マニュアルで録音する」（73ページ）をご覧ください。

故障かな?と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。（メッセージ一覧（88、89ページ）も合わせてご覧ください。）メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2
「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。

http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客さまご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。

・型名：CMT-A01MD
・製造（シリアル）番号：記載位置については、別紙「カスタマー登録のご案内」をご覧ください。
・ご相談内容：

・表示されたエラーメッセージ：
・トラブルが発生した状況：

・使用したCD：
・使用したMD：
・使用したテープ：

共　通

症状	チェック項目
音が出ない。	• I/⏻ボタンを押して電源を入れる。 • 電源コードのプラグをコンセントにしっかり差し込む。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧端子から抜く。 • 「Reading」が消えるまで待つ。 • 専用スピーカー接続コードをしっかりと差し込む。
雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 ➔ 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

症状	チェック項目
8cmCDが再生できない。 取り出せない。	• 8cmCDが入っているのに「No Disc」表示が出て再生できなかったり、8cmCDを取り出すことができなかったりすることがあります。その場合には、本体の■ボタンを押しながら、🗀/GROUP/TUNE + ボタンと　I/⏻ボタンを約5秒間同時に押してください。
再生が始まらない。	• CDが入っていることを確認する。
CDが入っているのに「READ Error」が表示される。	• CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。（91ページ） • レンズに露（水滴）がついている。 ➔ CDを取り出してフロントパネルを開けたまま数時間置く。 • ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 • 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。（12ページ）
音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。（91ページ） • CDに傷がある。 ➔ CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。

MD部

症状	チェック項目
「REC Error」、「READ Error」、「TOC Error」が表示され、操作を受け付けない。	● MDが汚れているか損傷している。 → 新しいMDと交換する。
再生経過時間や残り時間が「– – –:– –」と表示される。	● 本機は999分59秒までしか表示できません。それより長い時間の場合は「– – –:– –」が表示されます。
再生できない。	● 内部のレンズに露(水滴)がついている。 → MDを取り出してフロントパネルを開けたまま数時間置く。 ● MDを入れる向きが違う。 → MDのラベル面を上にして入れる。 → MDを矢印の向きに入れる。 ● 何も録音されていないMDが入っている。(「Blank Disc」が表示されている) → 録音済みのMDと交換する。 ● Hi-MD規格専用ディスク、またはHi-MDモードで録音されたディスクを入れた。 → 本機ではHi-MD規格専用ディスクやHi-MDモードで録音されたディスクは再生できません。
ディスクの1曲目から再生しない。	● グループ再生モードになっている。 → 通常再生モードにしてからもう一度再生する。
録音できない。	● MDが誤消去防止状態になっている。(91ページ) → MDの誤消去防止つまみを戻して孔を閉じる。 ● 再生専用MDが入っている。(「PB Disc」が表示されている) → 録音用MDと交換する。 ● MDの録音できる残り時間が足りない。(「Disc Full」が表示されている) → 不要な曲を消すか、別のMDと交換する。 ● 録音中や「TOC EDIT」表示中に停電があった、または電源コードのプラグがコンセントから抜かれた。 → 初めから録音し直す。 ● CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、MDに録音できない場合があります。 ● Hi-MD規格専用ディスクを入れた。 → 本機ではHi-MD規格専用ディスクに録音はできません。
高速録音できない。	● 一度高速録音した曲は、その後74分間は高速録音できません。(95ページ) ● MDの録音できる残り時間が1曲分ないため、高速録音はできません。(「Disc Full」が表示されている)
録音した音がとぶ。 録音した音に雑音が入る。	● 録音したときの音量が大きかった。 → 音量を下げて録音する。 ● 汚れがひどいCDを高速で録音した。 → 通常の速度で録音してください。

次のページへつづく

症状	チェック項目
高速録音したはずの曲が 録音できていない。	● 曲の途中で録音を止めると、その曲は録音されません。
他機種で編集ができない。	● ステレオ長時間録音モード(LP2、LP4)に対応していない機器で編集しようとした。 ➔ 本機、または他のステレオ長時間録音モードに対応している機器で編集する。
録音時、瞬間的なノイズが発生する。	● LP4録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。 ➔ ステレオ録音またはLP2録音を行う。

テープ部

症状	チェック項目
操作ボタンを押してもテープが動かない。	● カセットぶたをきちんと閉める。
前の録音が完全に消えない。	● 消去ヘッドをクリーニングする。(92ページ) ● TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープはお使いになれません。TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。
録音できない。	● カセットを正しく入れる。 ● デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。(92ページ)
雑音が多い。 音質がよくない。	● ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(92ページ) ● ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。(92ページ)
音が歪む。	● TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープはお使いになれません。TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。

ラジオ部

症状	チェック項目
FM受信時、ステレオにならない。	● MODEボタンを押して、「ST」を表示させる。(38ページ) ● ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

症状	チェック項目
雑音が入る。	● FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。(38ページ) ● テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 ● AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。

タイマー（時計）部

症状	チェック項目
タイマーが働かない。	● 時計を正しい時刻に合わせる。(21ページ) ● 停電があった。 ● 「TIMER」表示が出ていることを確認する。(78～80ページ) ● タイマーの開始時刻と終了時刻が同じになっている。 → 設定時刻を合わせ直す。

リモコン

症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。	● リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(20ページ) ● リモコンを本体へ向けて操作する。 ● 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 ● 本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。**上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、本体の■ボタンを押しながら、🗀/GROUP/TUNE + ボタンと I/⏻ボタンを約5秒間同時に押してください。**(時計やタイマーがお買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください。) それでも正常に動かないときは、電源コードを抜いて、2時間以上そのままにし、その後に電源コードをつなぎなおしてください。
以上を試してもまだ正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

エラーメッセージ一覧

本機を使用中、状況によって表示窓にメッセージが表示されます。意味は以下の通りです。

メッセージ	意味
Blank Disc	• 何も録音されていない録音用MDが入っている。
Cannot Edit	• MDの1曲目でコンバイン機能を使おうとした。 • 別々のグループに設定されている曲でコンバイン機能を使おうとした。 • グループを設定していないのに、グループに関わる編集をしようとした。 • すでにグループに入っている曲で、グループイン機能を使おうとした。 • グループに入っていない曲で、グループアウト機能を使おうとした。
Cannot REC	• FUNCTIONボタンで「MD」を選んだ状態でMD RECボタンを押した。 • ATRAC CDやMP3 CDでMD RECボタン、またはTAPE RECボタンを押した。 • ATRAC CD、MP3 CDを録音しようとした。 • CDが停止している状態で、MDにマニュアル録音しようとした。
Cannot SYNC	• ATRAC CD、MP3 CDをシンクロ録音しようとした。
Disc Full	• MDの残り時間が少ないため、録音できない。曲がいっぱいでこれ以上録音、編集できない。 • Hi-MD規格専用ディスクに録音しようとした。
Error	• MDの録音できる残り時間が1曲分ないため、高速録音できない。 • プログラム再生で21曲プログラムしようとした。プログラムは20曲までできる。 • CDのシャッフル再生をシンクロ録音することはできません。 • CDにひどい汚れや傷があり、正しく録音できなかった。 ➔ CDをクリーニングする。 ➔ CDを交換する。 • 時計合わせをしていないのに、タイマー機能のSTANDBYボタンを押した。 • CD-RWを高速録音しようとした。
Gp Full	• グループを設定できるのは99グループまでです。
Name Full	• 記録済みの曲名、ディスク名やグループ名がいっぱいで入力できない。 ➔ 不要な文字を消す。
No Disc	• MDまたはCDが入っていない。

No MD	• MDが入っていない。（シンクロ録音などの場合）
No Tab	• テープのツメが折れているため、録音することはできません。 ➔ ツメの部分だけ穴をふさぐ。（92ページ）
No Tape	• テープが入っていない。
Not GP Mode	• グループモードに入っていないでグループ検索を行った。
PB Disc	• 再生専用MDを使っている。
Please Wait	• 「TUNER」に切り換えたときに、CDがまだ停止していなかった。 ➔ CDが停止するまで待つ。
Protected	• MDが誤消去防止状態になっている。（91ページ）
READ Error	• ひどい汚れや傷のあるMDを使っている。 ➔ MDを交換する。 • ひどい汚れや傷のあるCDを使っている。 ➔ CDをクリーニングする。 ➔ CDを交換する。 • レンズに露（水滴）がついている。 ➔ CDを取り出してフロントパネルを上げたたまま数時間置く。 ➔ MDを取り出してフロントパネルを上げたまま数時間置く。 • Hi-MD規格専用ディスクやHi-MDモードで録音されたディスクを再生しようとした。
REC Error	• 正しく録音できなかった。 ➔ 振動のない場所で録音をやり直す。 • ひどい汚れや傷のあるMDを使っている。規格外のMD（録音や編集などの情報が正しく入っていない）を使っている。 ➔ MDを交換して録音をやり直す。
Sorry	• MDのシステム上の制約により、編集することはできません。（94〜96ページ）
TOC Error	• 規格外のMD（録音や編集などの情報が正しく入っていない）を使っている。 ➔ MDを交換する。
Trk Protect	• 他のMDレコーダーでトラックプロテクト（曲の誤消去、編集防止機能）をかけた曲を録音や編集しようとした。 • Hi-MD規格専用ディスクやHi-MDモードで録音されたディスクを消去しようとした。

使用上のご注意

共　通

取り扱いについて

- 本機と他の機器をつないで使う際は、接続コード類に足などを引っ掛けないようご注意ください。
- フロントパネルを上げたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  – 時計
  – クレジットカードなどの磁気カード
  – カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、テレビやモニターの画像が乱れる場合は、スピーカーを離してお使いください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

本体を持ち運ぶときのご注意

電源を切り、電源コードを抜いてください。

本体のお手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

CD部

CDについて

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
  また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。

- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。
次のような故障の原因となることがあります。
—ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
—高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。（再生できない、音とびがするなど）

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

MD部

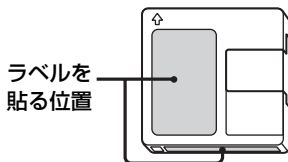
MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことをご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

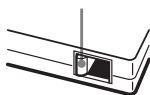
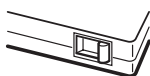
シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合はすぐに閉めてください。

ラベルは所定の場所に貼ってください

MDに付属のラベルは、シャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。所定以外の場所に貼ると、ディスクが取り出せなくなることがあります。

MDのお手入れのしかた

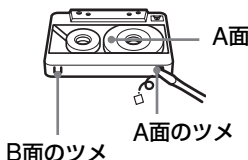
定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

録音内容を間違って消さないために

誤消去防止つまみをずらして、孔の開いた状態にします。
再び録音するときは、つまみを元に戻します。

使用上のご注意

テープ部

大切な録音を守るー誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音／再生ヘッドを消磁してください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下(JEITA*)
周波数特性	20〜20,000Hz+1/−2dB (JEITA*)

MDデッキ部

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)
レーザー	半導体レーザー (λ=780nm)
録音再生時間	MDW-80を使用時： LP2時最大 160分 LP4時最大 320分
回転数	約400rpm〜900rpm(CLV)
エラー訂正方式	ACIRC (Advanced Cross Interleave Reed Solomon Code)
サンプリング周波数	44.1kHz
コーディング	ATRAC ATRAC3 — LP2/LP4
変調方式	EFM (Eight to Fourteen Modulation)
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20〜20,000Hz+1/−1dB
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

受信周波数	FM: 76 −90MHz AM: 531 − 1,629kHz
アンテナ	FM: リードアンテナ AM: ループアンテナ

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネル
早巻き時間	約2分(ソニーカセットテープC-60使用)
周波数範囲	TYPE I(ノーマル)カセット 70 − 13,000Hz

スピーカー部

型式	2 wayパッシブラジエータ型
使用スピーカー	フルレンジ：直径100mm トゥイーター：直径25mm パッシブラジエーター： 100 mm
最大外形寸法	約140×302×208mm （幅×高さ×奥行き） （最大突起部を含む） （JEITA*）
質量	左スピーカー：約2.0 kg 右スピーカー：約4.25 kg
実用最大出力	25W + 25W（JEITA*/6Ω）

共通部

出力端子	☊（ヘッドホン）（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16〜68Ω SPEAKER OUT (POWER IN)1個
入力端子	LINE IN1個
電源	本体： 家庭用電源（AC100V 50/60Hz） リモコン部： リチウム電池　1個使用（DC3V）
消費電力	45W
最大外形寸法	約144×153×180mm （幅×高さ×奥行き） （最大突起部を含む） （JEITA*）
質量	約2.2kg

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン
MDRヘッドホンシリーズ

本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
なお、サービス（修理）を依頼されるときは、CMT-A01MD本体と電源部である右スピーカーユニットを、必ず一緒にお持ちください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンポーネントシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

解説

ここでは、ミニディスクについての技術用語やシステム上の制約について解説します。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います（「TOC Edit」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

ATRAC3plusとは

ATRAC3plusとは、ATRAC3を更に発展させたオーディオ圧縮技術です。
これまでのATRAC3（本機のLP2/LP4ステレオモード）の圧縮率が、CDの1/10だったのに対し、ATRAC3plus（本機のHi-SP/Hi-LPステレオモード）はCDをベースに比較すると、1/20という高い圧縮率かつ高音質を実現しています。

MDLPとは

本機は、従来の音声圧縮技術「ATRAC : Adaptive Transform Acoustic Coding」に加え、「ATRAC3 : Adaptive Transform Acoustic Coding 3」を採用しています。この技術は、聴覚心理学に基づいて人の耳には聞こえない音をカットし、音楽データを約1/10に圧縮します。これにより、録音時間を従来の2倍、または4倍に拡張するMD長時間録音モード「MDLP : Mini Disc Long-Play mode」が可能です。80分ディスクの場合、LP2モードで約160分、LP4モードで約320分の録音・再生ができます。

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。

255曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full」が表示される。

同じディスクで録音、消去を繰り返すと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは、曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり255曲になると、録音できなくなります。
さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない。

つなごうとする曲のデータがディスク上に分散しており、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の曲番を消して前の曲をつなぐことはできません。また、ステレオ録音した曲とLP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音した曲など、異なる録音モードで録音された曲をつなぐことはできません。

ディスクに録音した時間と残りの時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない場合がある。

通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めたあとまた録音を始めるときは、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）短くなります。

編集した曲を再生、または早送り、早戻しするときに音が途切れることがある。

短い曲がディスクの上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

一度高速録音した曲は、74分間は再び高速録音できない（HCMS:ハイスピードコピーマネージメントシステム）。

ある曲を高速録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
一度高速録音した曲を74分以内に高速録音しようとすると、通常の速度で録音されます。
一枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。

デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて（シリアルコピーマネージメントシステム）

デジタルオーディオとは、音声信号を数値（デジタル）でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）などがこれにあたります。
これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。
本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

その他

次のページへつづく

デジタル信号同士のコピー*は1世代まで

原則1

市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

原則2

市販のアナログ音楽ソフト（アナログレコードやミュージックカセットテープ）や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

MDプレーヤーのアナログ出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

* コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

索引

五十音順

ア行

頭出し
　CD　24
　MD　31
イレース機能　62
お手入れ　91、92
音楽CD　12

カ行

曲を消す　44、62
繰り返し聞く　51
グループアウト　61
グループイン　60
グループ機能　57、58
グループリリース　59
グループ再生モード　52
高速録音　27、29、53
故障かな？と思ったら　83～87
誤消去防止　91、92
コンバイン機能　64

サ行

サーチ　47
再生時間を調べる
　CD　45
　MD　46
再生する
　テープ　32
　CD　23
　MD　30
サウンド効果　77
シャッフル再生　48、49
シリアルコピーマネージメントシステム　95
シンクロ録音　26、34、54、72
スリープタイマー　81
接続
　アンテナ　19
　スピーカー　19
　電源　19、20
選曲　47、54

タ行

タイマー
　スリープ　81
　目覚まし　78
　録音　79
ダイレクト選曲　47
長時間録音　29
調節する
　音質　77
　音量　24、31、33
ディバイド機能　63
ディレクションモード　33
電源　20、24、28、31、33、36、38、41、44
時計を合わせる　21
トラックマーク（曲番）を付ける　41、56、64

ナ行

入力できる文字（MD）67、70
ネーム機能　67

ハ行

ハイスピードコピーマネージメントシステム　95
表示窓
　コントラストの調節　22
　CD　45
　MD　46
ブックマークトラック再生　49
プレイリスト再生　50
プログラム再生　50
プログラムシンクロ録音　54、72
プリセット　75
プリセット選局　76
プレイモード　48
付属品　13
編集
　曲順を変える　65
　曲名を付ける　67～70
　曲やグループを消す　62、
　曲をグループから抜く　61
　曲をグループに入れる　60
　曲を2つに分ける　63
　グループ名を付ける　67～70
　グループを解除する　59
　グループを作る　58
　ディスク名を付ける　67～70
　2つの曲を1つにする　64

マ行

マニュアル録音　39、55、73
ムーブ機能　65
目覚ましタイマー機能　78
メッセージ一覧　88～89

ラ行

リジューム再生　24、31
リピート再生　51
録音　26、34、39、53、54、55、71、72、73
録音タイマー　79
録音モード　27

アルファベット順

ATRAC　12
ATRAC3　12
ATRAC3plus　12、25、94
CD►MD　27、53
CDの取り扱い　90
CDDAフォーマット　12
m3uプレイリスト　50
MDの取り扱い　91
MDの制約　94
MDの編集　57～70
MDLP　29、94
MP3　12、25
REC IT録音　53、71
SOUND　77
TOC EDIT　28、36、41、53、55、56、57、94

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

●ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/support-pa/）

本機に関する最新サポート情報や、お問い合わせが多い質問とその回答をご案内しています。

●電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ホームオーディオ]です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：CMT-A01MD
    - 製造（シリアル）番号：記載位置は別紙「カスタマー登録のお願い」を参照
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日
  - ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン（メーカー名/型名）：
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量／ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名／種類（外付けまたは内蔵）：
    - エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

◀─「お問い合わせ窓口のご案内」については、裏をご覧ください。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川6-7-35
Printed in China

パーソナルコンポーネントシステム
CMT-A01MD
T10-1001A-2